

めぶきフィナンシャルグループ

個人投資家さま向け会社説明会



MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

2026年9月
(東証プライム 7167)

目次

1. めぶきFGってどんな会社？ P3
2. 『銀行』と『金利』の関係は？ P9
3. めぶきFGの強みとは？ P16
4. めぶきFGってこれからどうなるの？ P28

1. めぶきFGってどんな会社？

2. 『銀行』と『金利』の関係は？

3. めぶきFGの強みとは？

4. めぶきFGってこれからどうなるの？

1 (1) 会社概要・グループ体制

■ 会社概要・グループ体制*1(2026年3月末)



* 1 2026年4月1日に足利銀行がカテル(現:ウイングITソリューションズ)の全株式を取得したことにより、同日から連結子会社化
また、足利銀行の出資により農作物の生産、加工または販売を行う農業子会社(バスカルファーム)を2026年10月下旬に設立予定

商号	株式会社めぶきフィナンシャルグループ	代表者	社長 秋野 哲也、副社長 清水 和幸
設立	2008年4月(2016年10月 商号変更)	上場	東証プライム市場(証券コード: 7167)
本店所在地	東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号	従業員数	5,880名(外、平均臨時従業員数 2,905名)
本社所在地	(水戸本社) 茨城県水戸市南町2丁目5番5号	総資産	21兆1,735億円
	(宇都宮本社) 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号	時価総額	1兆6,170億円(2026年8月31日終値1,707.5円、自己株式含む)

1 (2) 沿革

■ めぶきフィナンシャルグループの歩み

常陽銀行の歴史

設立 92周年目

1935年 常磐銀行と五十銀行の合併により設立



足利銀行の歴史

設立 131周年目

1895年 栃木県足利郡足利町にて創業



めぶきFGの歴史



2016年10月 常陽銀行と足利銀行が経営統合し、
めぶきフィナンシャルグループが発足

経営統合から今年で…

2026年10月 **FG設立10周年** を迎える

長期ビジョン2030

目指す姿

地域とともにあゆむ価値創造グループ

社名に込めた思い

「めぶき(芽吹き)」は“樹木の新芽が出始めること”を意味し、グループ各社の知見と創意を結集させることにより、瑞々しい発想や新しい価値が次々と生み出される様を「めぶき」という言葉で表現し、グループ名称に用いています。社名には、**地域に新たな価値と活力を芽吹かせ、地域とともに持続的成長を実現していく**思いを込めています。

『めぶきFG 創立10周年 コーポレートムービー』をご覧ください。

色づく未来を、
ともに。



記念キャッチコピー「色づく未来を、ともに。」

お客さまや地域の皆さま、株主さま、当社グループといった、
多様なステークホルダーの皆さまをさまざまな「色」で表現しました。
それぞれの個性が重なり合うことで新しい価値を生み出し、
ともに彩りゆたかな未来をつくり上げていきたいという
強い想いを込めています。

記念ロゴマーク

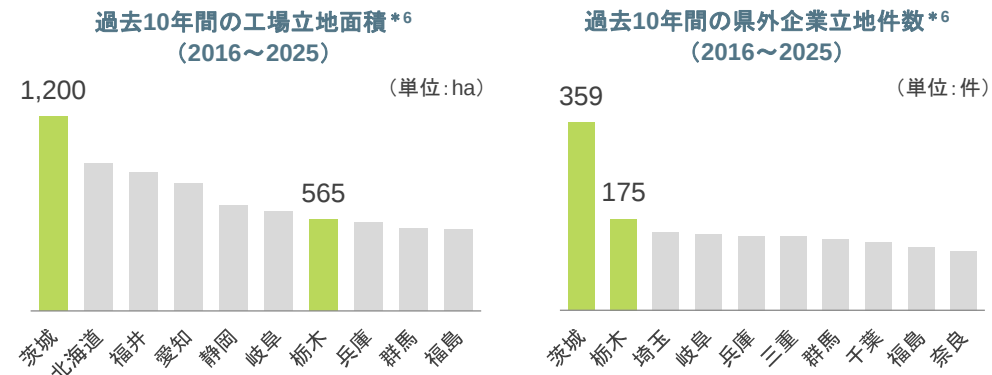
社名の由来である「芽吹き」から連想される「葉」が、風に乗って
未来へ舞い上がるイメージを描いています。
希望や可能性が広がりながら鮮やかに色づいていく姿は、
多様性を力に変え、グループ一体となって
皆さまとともにあゆむ姿勢を象徴しています。

1 (3) マーケットポテンシャル・店舗ネットワーク

■ 主要マーケットの特徴(茨城県・栃木県)

経済規模					
経済指標		茨城県		栃木県	
	名目県内総生産*1	14.5兆円	11位	9.5兆円	16位
	一人当たり県民所得*1	348万円	3位	343万円	6位
	事業所数*2	9.8万事業所	13位	7.1万事業所	20位
	製造品出荷額等*3	15.0兆円	8位	9.8兆円	13位
	農業産出額*4	5,494億円	3位	3,448億円	9位
	漁業漁獲量*5	231千トン	3位	—	—
地域特性					

首都圏に隣接し、全国有数の工場立地地域



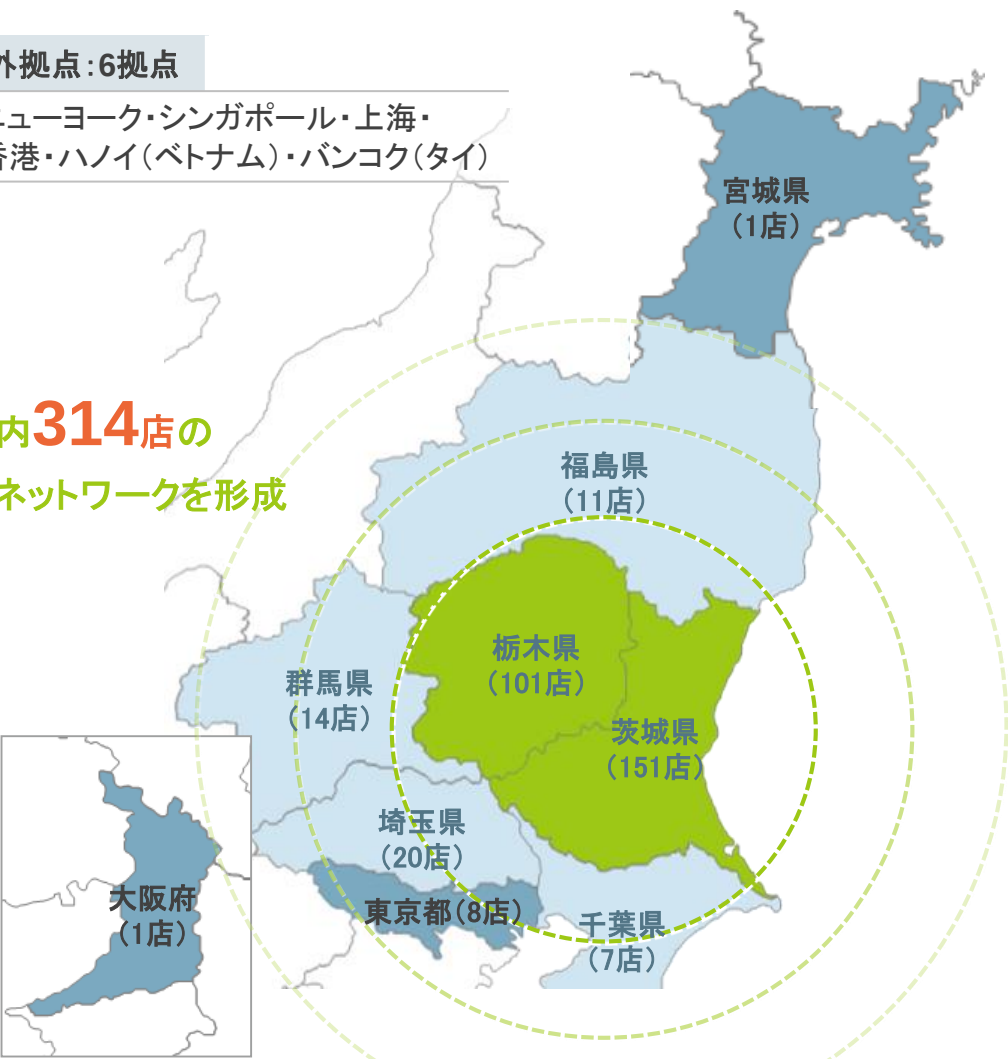
* 1 内閣府「県民経済計算」(令和4年度) * 2 総務省統計局「令和6年経済センサス-基礎調査」 * 3 総務省統計局「令和6年経済構造実態調査」 * 4 農林水産省「令和6年生産農業所得統計」
* 5 農林水産省「令和6年漁業・養殖業生産統計」 * 6 経済産業省「令和7年工場立地動向調査」 * 7 バーチャル店舗・店舗内店舗を含む

■ 国内店舗ネットワーク*7(2026年3月末)

海外拠点:6拠点

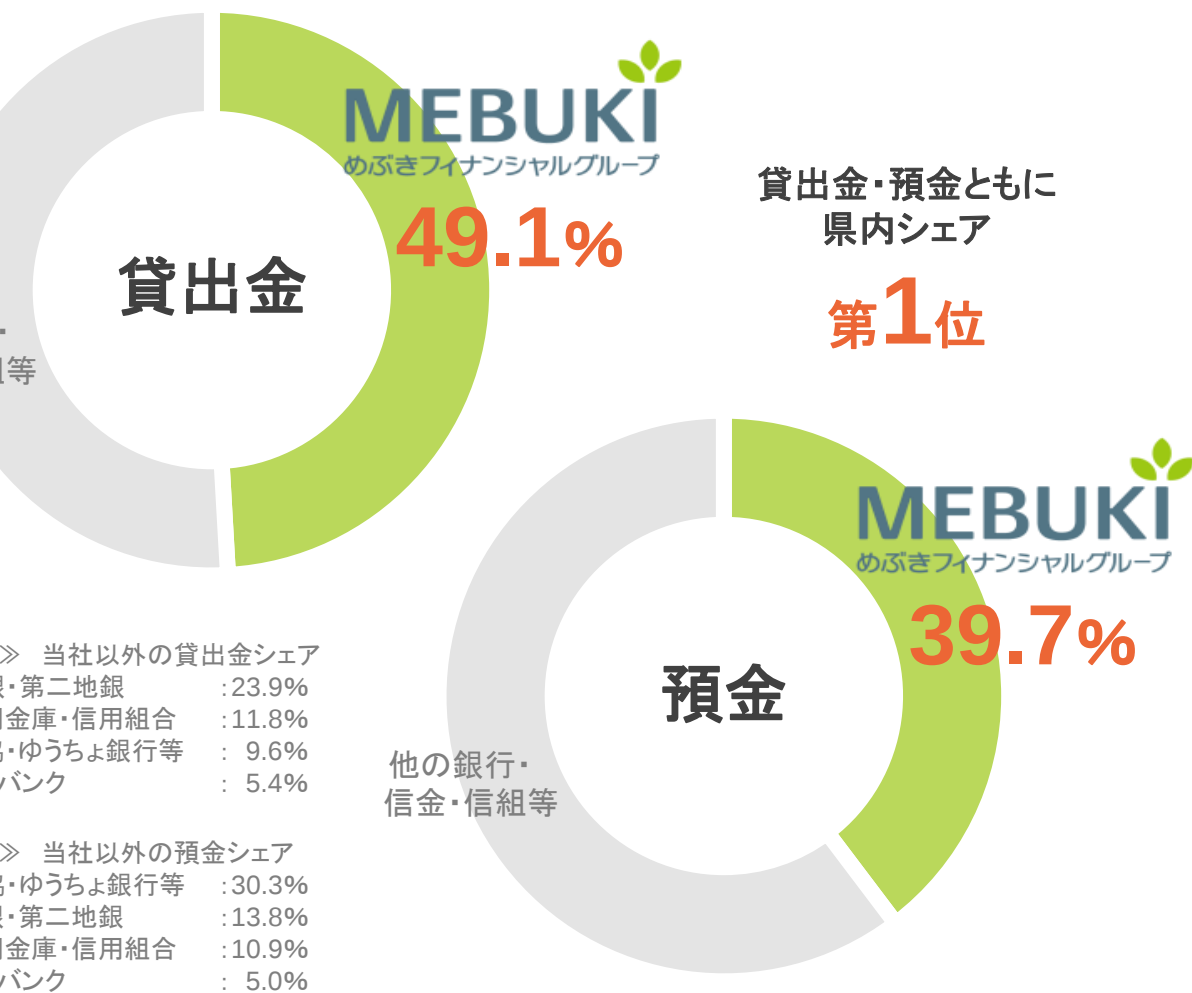
ニューヨーク・シンガポール・上海・
香港・ハノイ(ベトナム)・バンコク(タイ)

国内**314店**の
広域なネットワークを形成

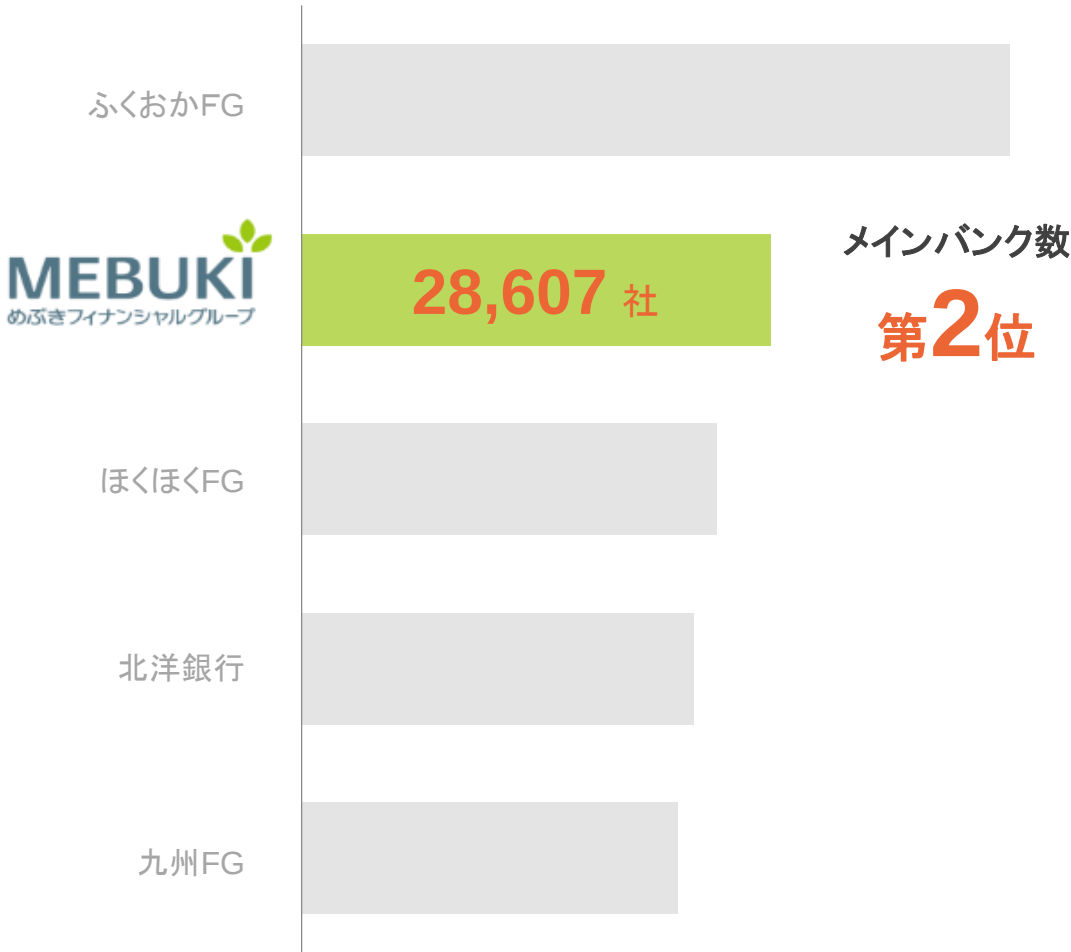


1 (4) 主要マーケットにおける当社のポジション

■ 預金・貸出金のシェア*1(茨城県・栃木県)



■ メインバンク数*2(地方銀行上位5社・行)



*1 金融ジャーナル2025.11増刊号『金融マップ2026年版』のデータを基に当社算出 *2 帝国データバンク『全国「メインバンク」動向調査(2025年)』より、地方銀行・グループで当社作成

1. めぶきFGってどんな会社？

2. ▽『銀行』と『金利』の関係は？▽

3. めぶきFGの強みとは？

4. めぶきFGってこれからどうなるの？

2 (1) 日米政策金利の推移

■ 日本と米国の政策金利の推移



2 (2) 国内金利上昇による銀行業績への影響

■ 国内金利上昇が銀行業績に与える影響

銀行の財務

用語解説

業務粗利益

業務粗利益の
大部分を占める

● 資金利益

役務取引等利益

特定取引利益

⋮

一般事業会社の売上総利益(売上一売上原価)に相当

『資金運用収益(貸出金利息や有価証券配当金など)』と『資金調達費用(預金利息など)』の差額

預り資産販売やコンサルティング業務などを通じて受け取った手数料

デリバティブ取引や市場取引から得た利益

金利が上がると、どうなるの…?

資金運用収益

貸出金利息や
有価証券配当金など

資金調達費用

預金利息など

資金利益

貸出金利回りなどが改善し、
利鞘が拡大

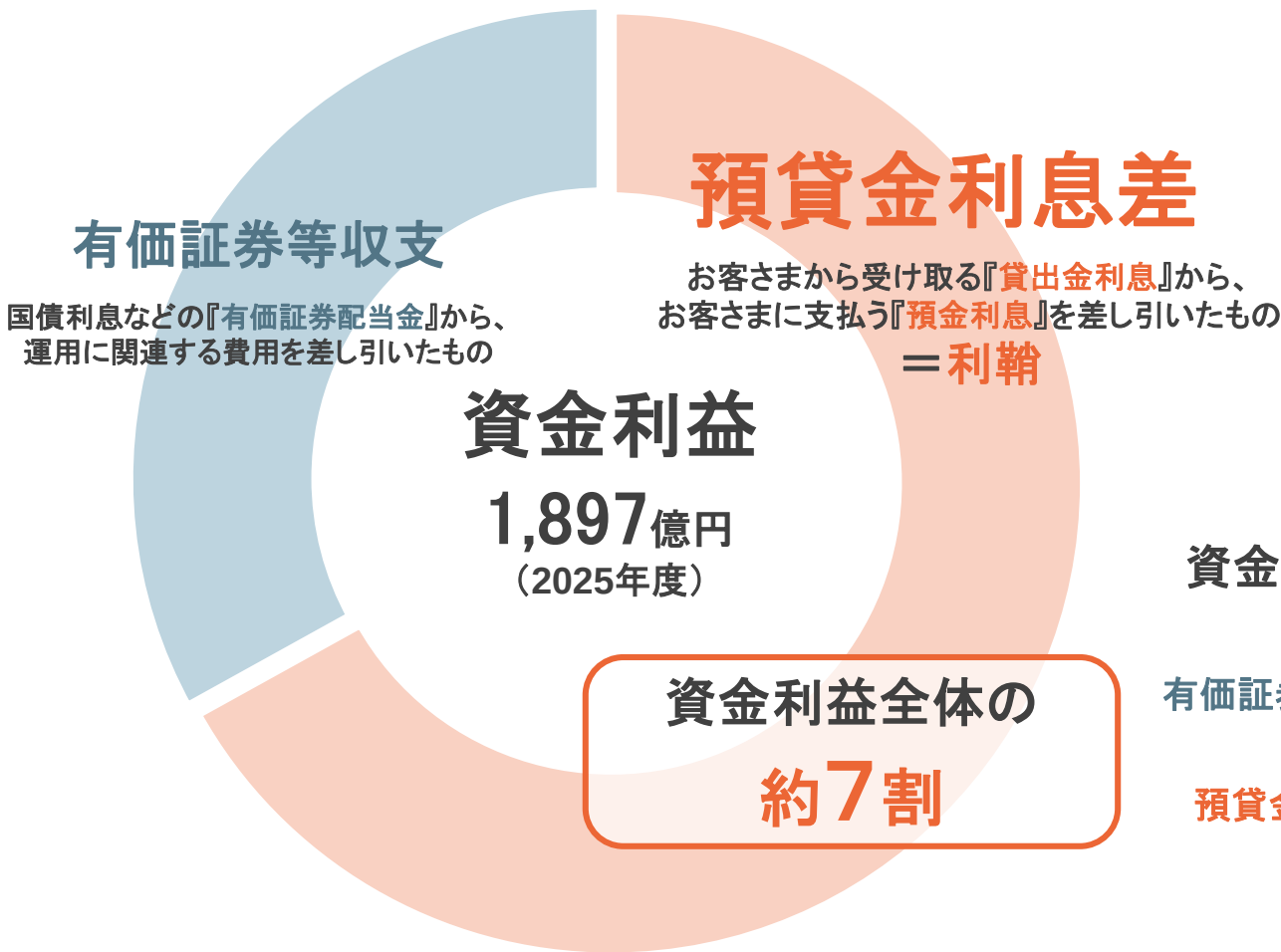
業務粗利益の大部分を占める

資金利益が増加することで**収益が拡大**

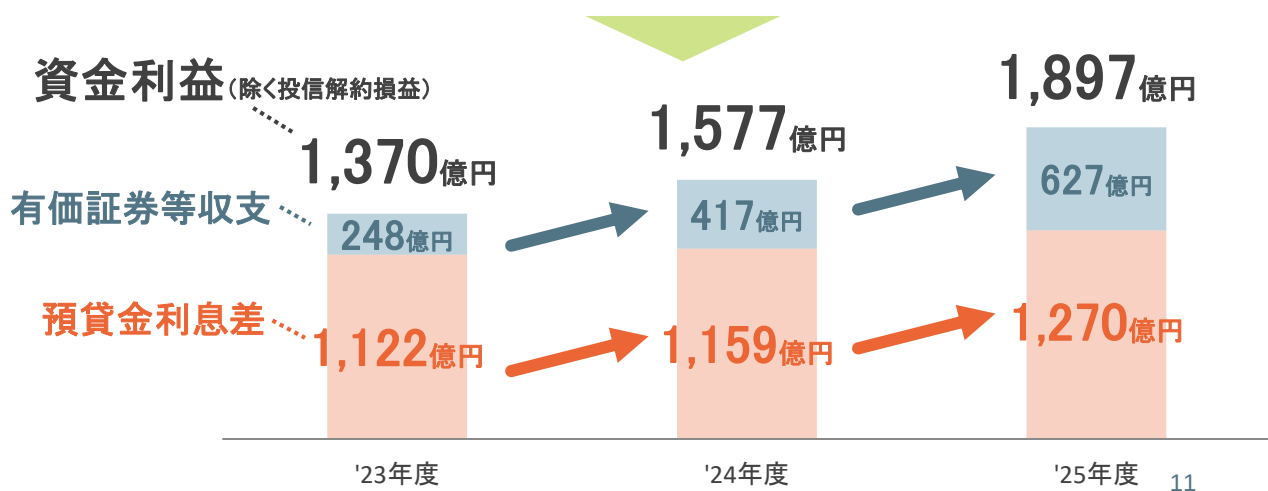
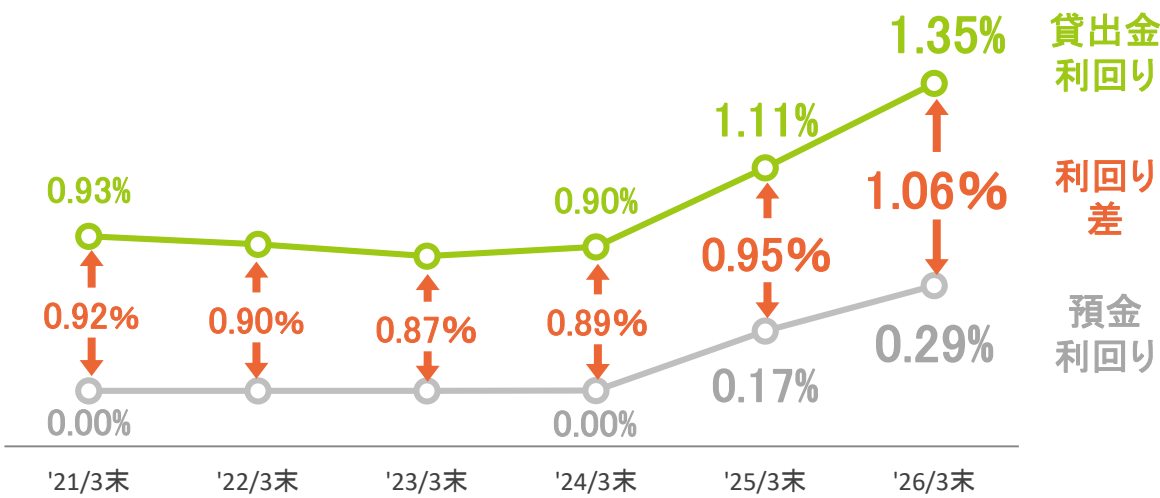
2 (2) 国内金利上昇による銀行業績への影響

■ 貸出金利回り改善による資金利益の増加

めぶきFGにおける資金利益の構成



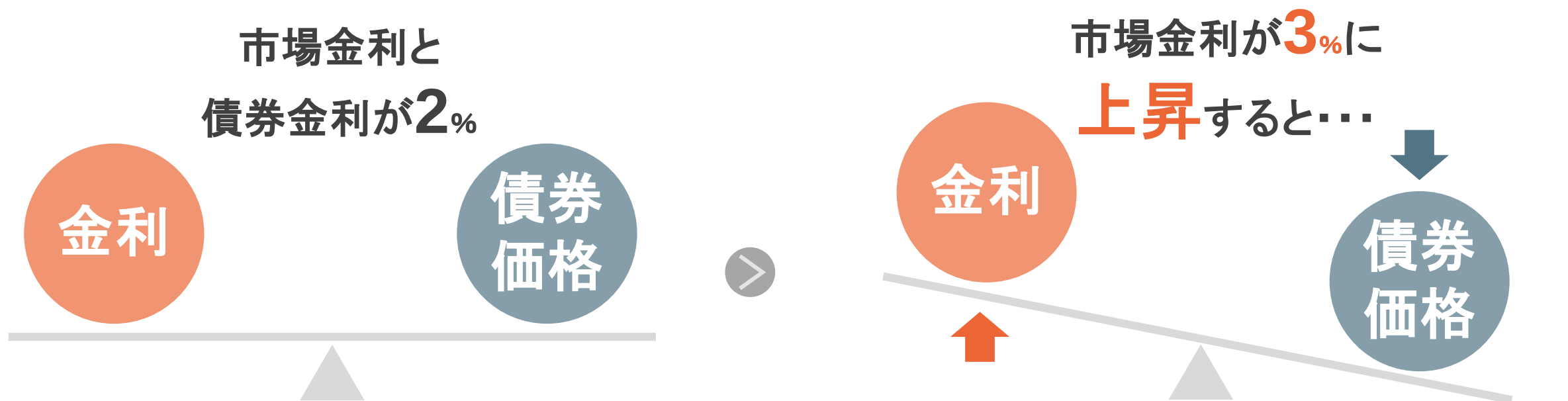
貸出金利回りと預金利回りの推移



2 (2) 国内金利上昇による銀行業績への影響

■ 国内金利上昇に伴うリスク要因

金利と債券価格の関係(イメージ)



市場金利が3%に**上昇**すると、2%の債券の投資魅力が薄れるため、債券価格が**下落**

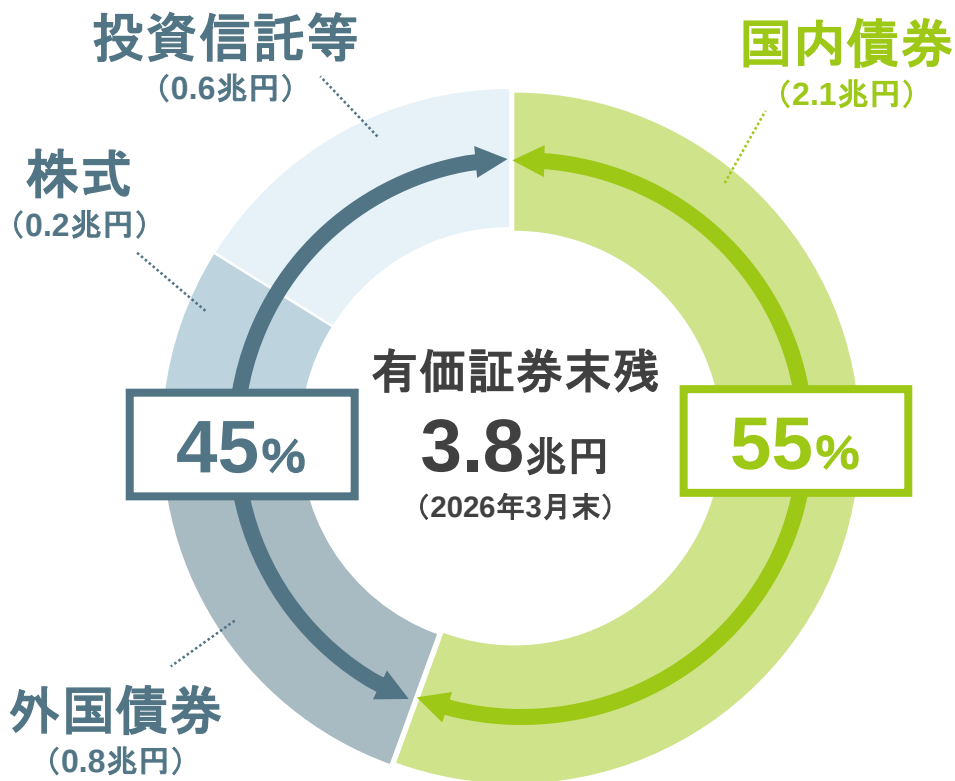
↳ 保有している有価証券(国内債券)の**評価損益が悪化**

2 (2) 国内金利上昇による銀行業績への影響

国内金利上昇に伴うリスク要因

めぶきFGにおける有価証券運用の特長

Point 1 分散されたポートフォリオ

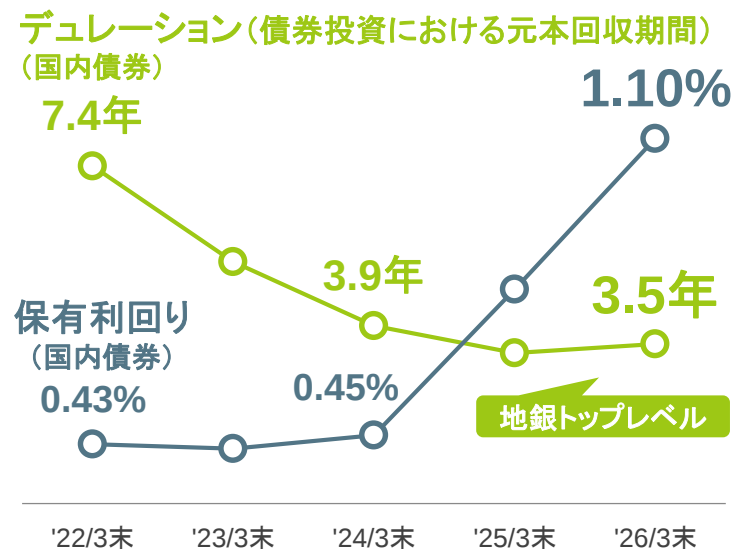


Point 2 評価損益コントロール(ヘッジ取引)

評価損益
221億円 (2026年3月末)
うち、国内債券△1,966億円

評価損益(繰延ヘッジ考慮後)
1,398億円 (2026年3月末)
うち、国内債券△812億円

Point 3 金利上昇に備えた再投資余地

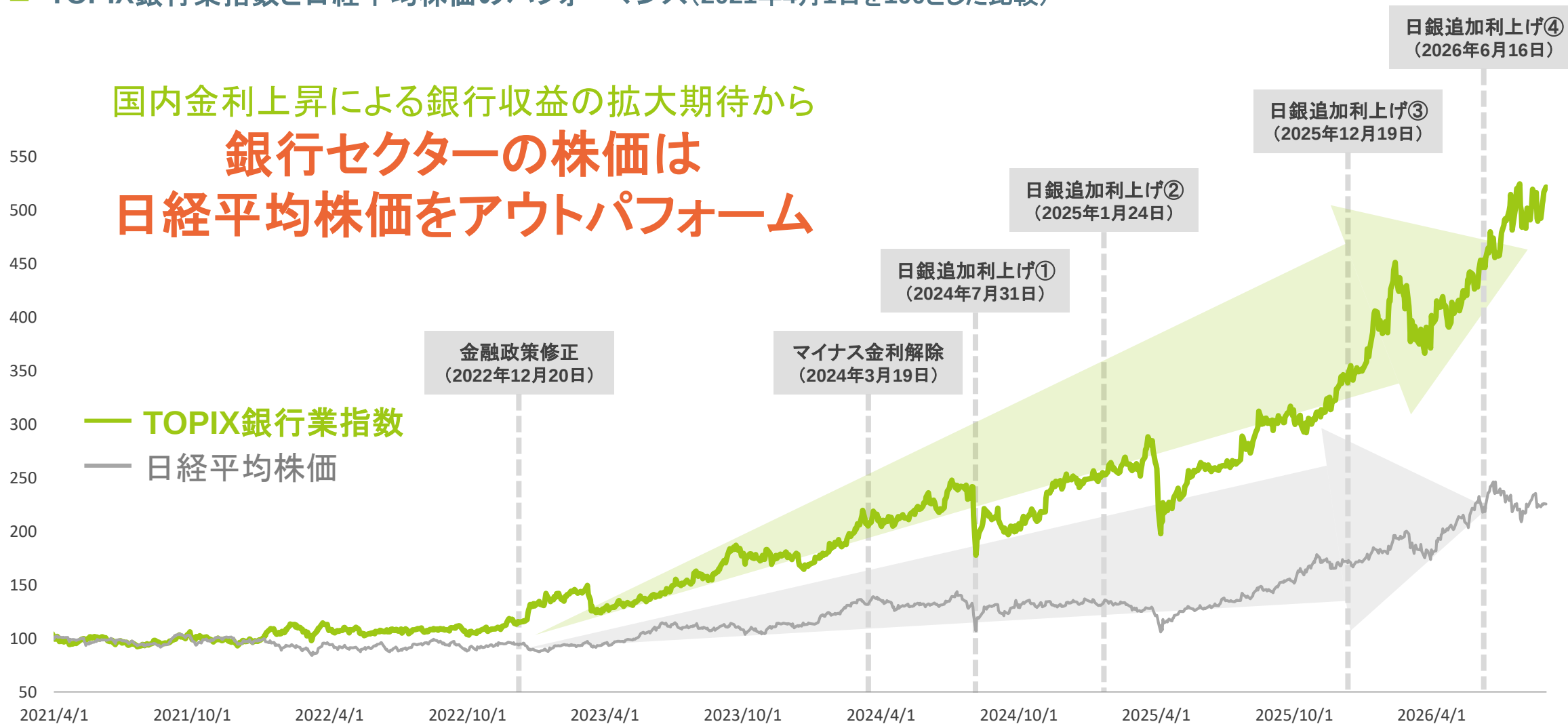


金利上昇局面でデュレーションが『短い』と...

1. 債券価格の下落(評価損益の悪化)を抑制しながら、
2. 早い段階で償還分を高い利回りの債券に再投資でき、
3. 有価証券等収支の更なる拡大が期待できる

2 (3) 銀行業と他業種の株価比較

■ TOPIX銀行業指数と日経平均株価のパフォーマンス(2021年4月1日を100とした比較)



1. めぶきFGってどんな会社？

2. 『銀行』と『金利』の関係は？

3.  めぶきFGの強みとは？ 

4. めぶきFGってこれからどうなるの？

3 (1) めぶきフィナンシャルグループの強み

■ 『めぶきフィナンシャルグループの強み』をご理解いただく上での3つのキーワード

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ
の強み



確かな成長性



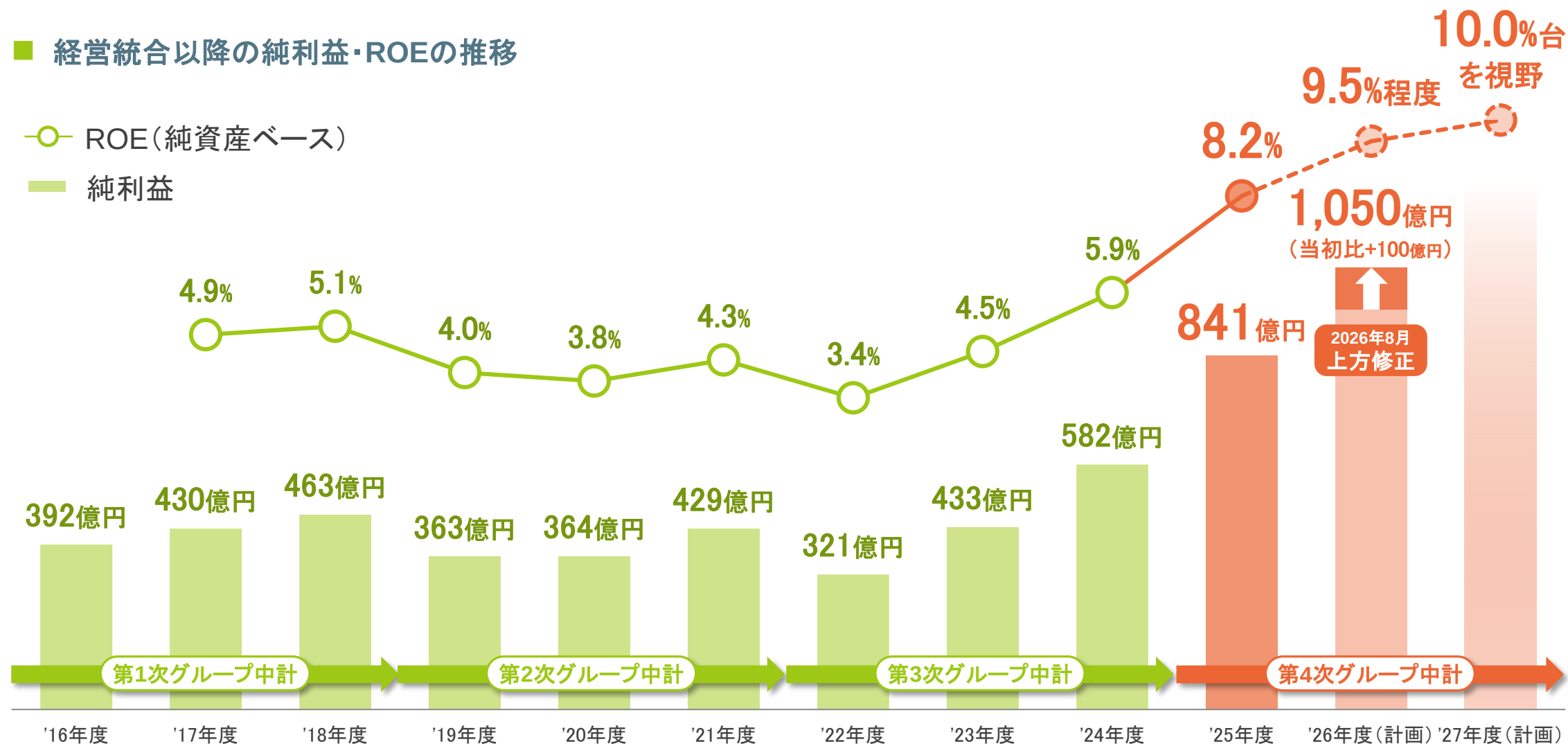
資本・資産の健全性



積極的な株主還元

3 (2) 確かな成長性

■ 経営統合以降の純利益・ROEの推移



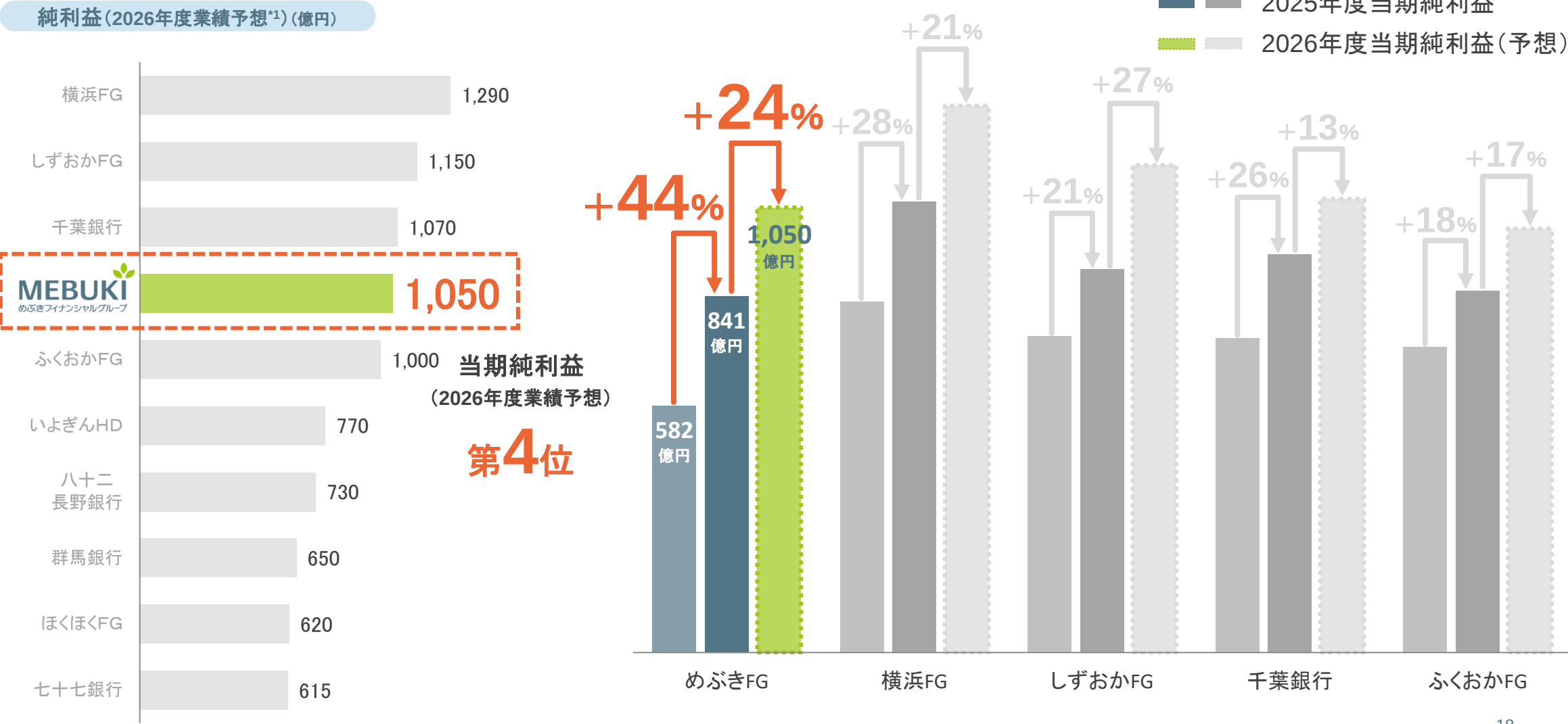
【日本の金融政策】

マイナス金利政策
($\Delta 0.10\%$)

マイナス金利解除
($0.10\% \Rightarrow 0.25\% \Rightarrow 0.50\% \Rightarrow 0.75\% \Rightarrow 1.00\%$)

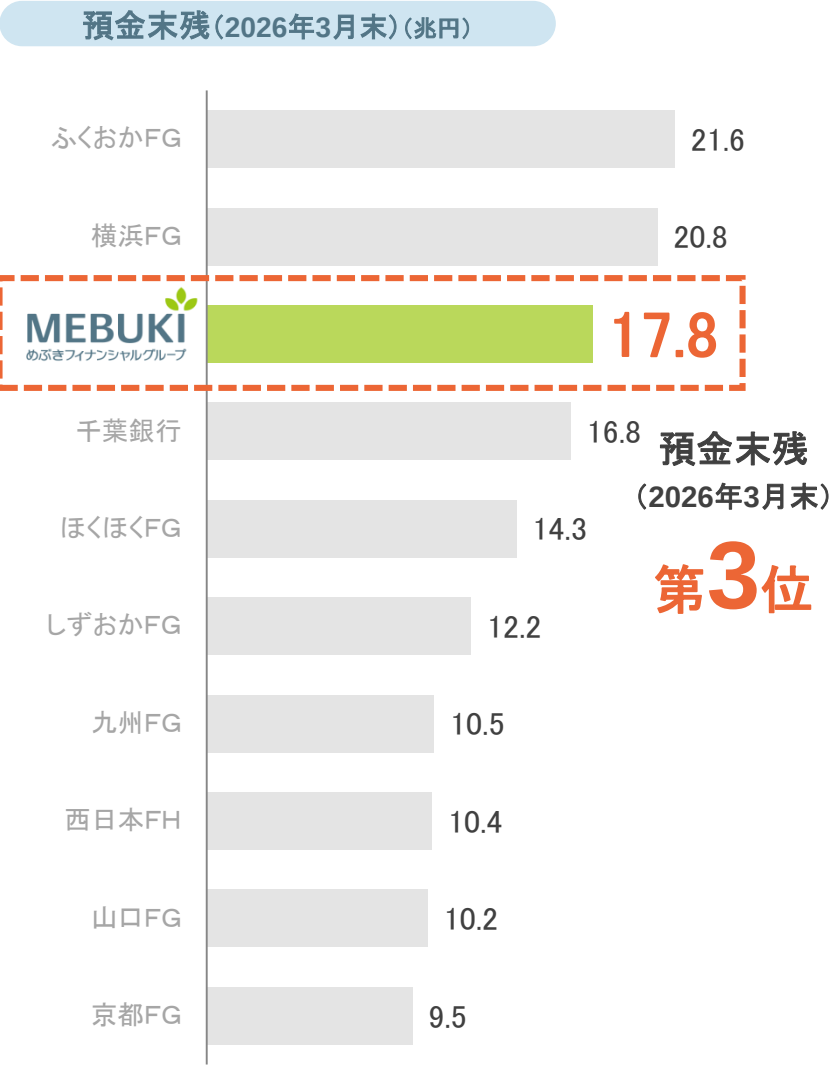
3 (2) 確かな成長性

■ 純利益の地方銀行セクター比較(上位10社・行) ■ 地銀大手行の利益成長率の推移

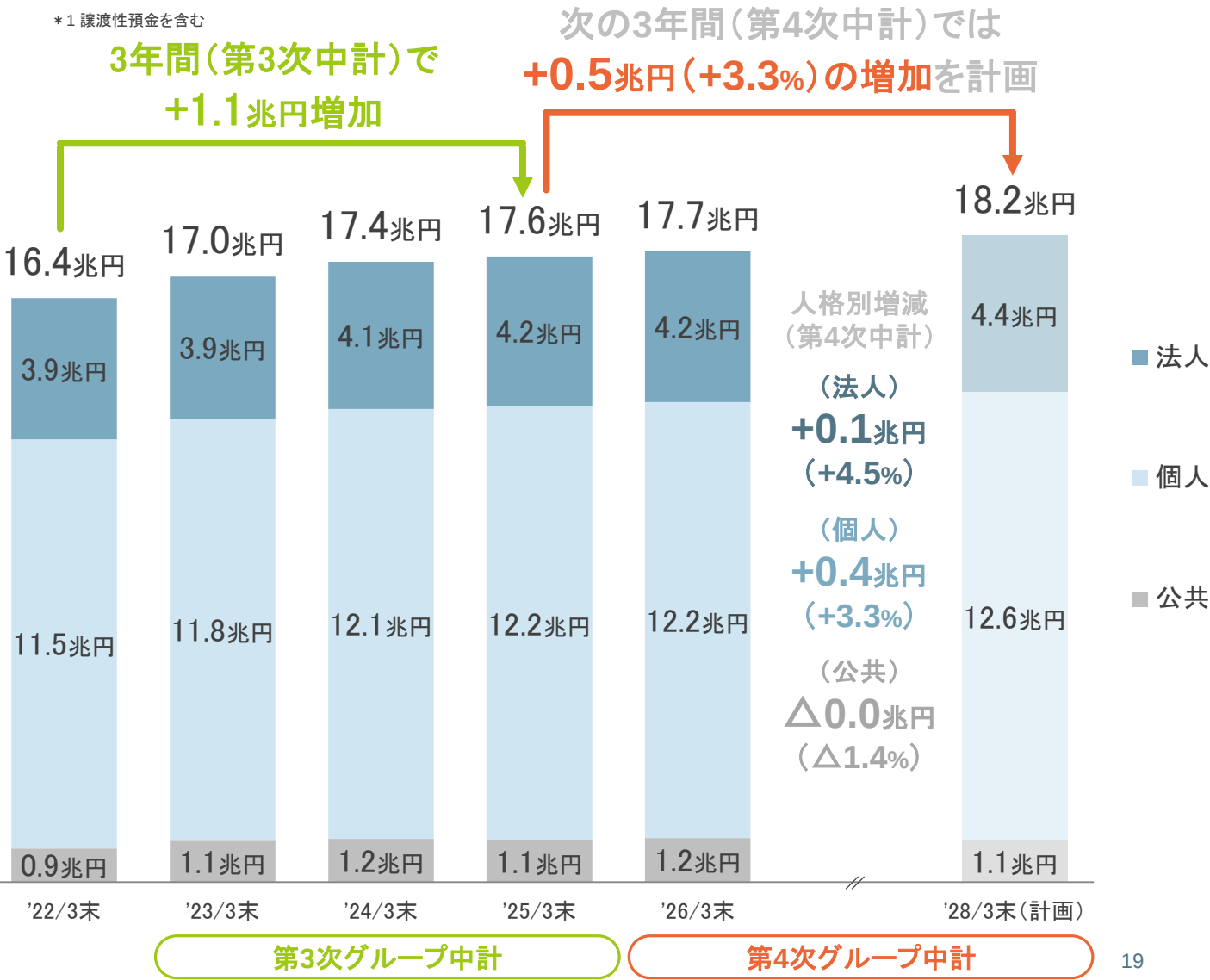


3 (2) 確かな成長性

■ 預金の地方銀行セクター比較(上位10社・行)

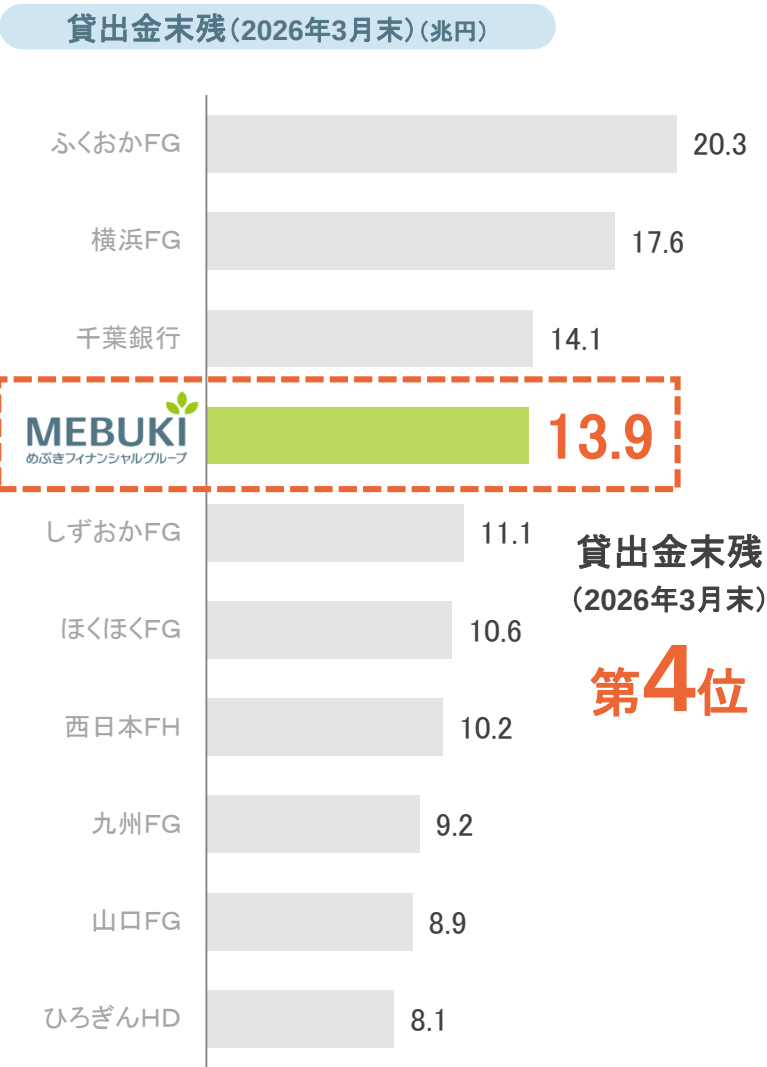


■ 円貨預金平残*1の推移



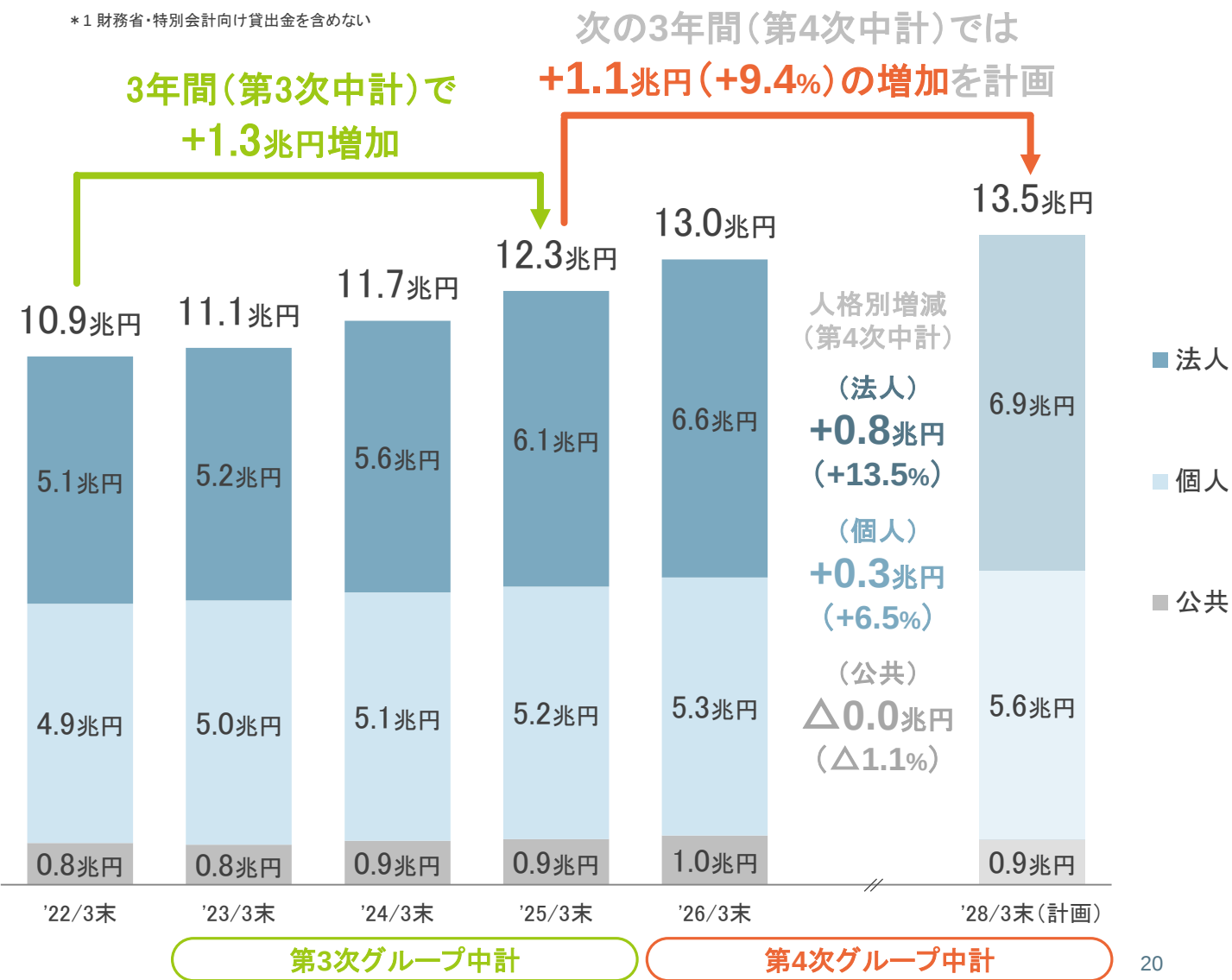
3 (2) 確かな成長性

■ 貸出金の地方銀行セクター比較(上位10社・行)



■ 円貨貸出金平残*1の推移

*1 財務省・特別会計向け貸出金を含めない



3 (2) 確かな成長性

■ 預貸ギャップの状況*1(譲渡性預金を含む)

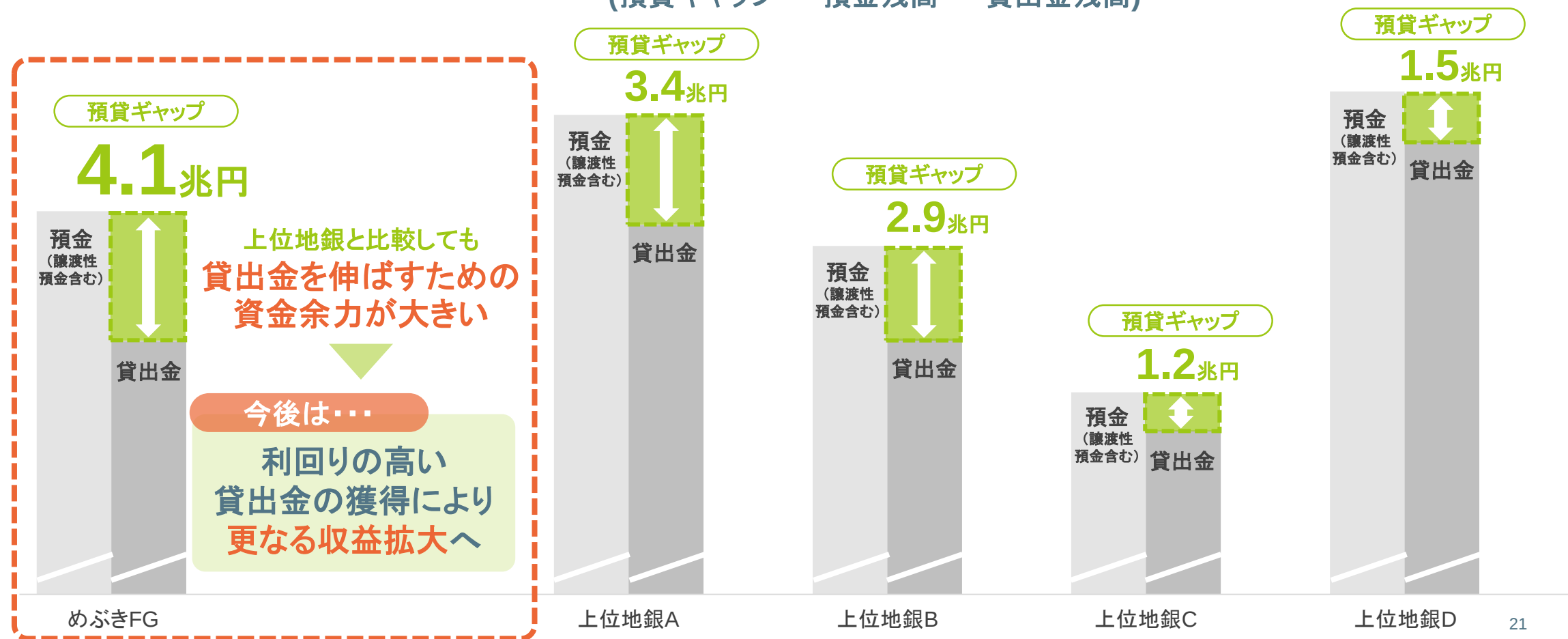
* 1 有価証券報告書(2026年3月期)より当社作成

本当に貸出金は伸ばせるの・・・？

ポイントは『**預貸ギャップ**』



『**預金残高**』と『**貸出金残高**』の差
(預貸ギャップ = 預金残高 - 貸出金残高)



3 (2) 確かな成長性

■ 2026年度第1四半期の業績ハイライト

足元の実績はきちんと伸びている・・・？

Point 1 経営統合以降の1Qで最高益

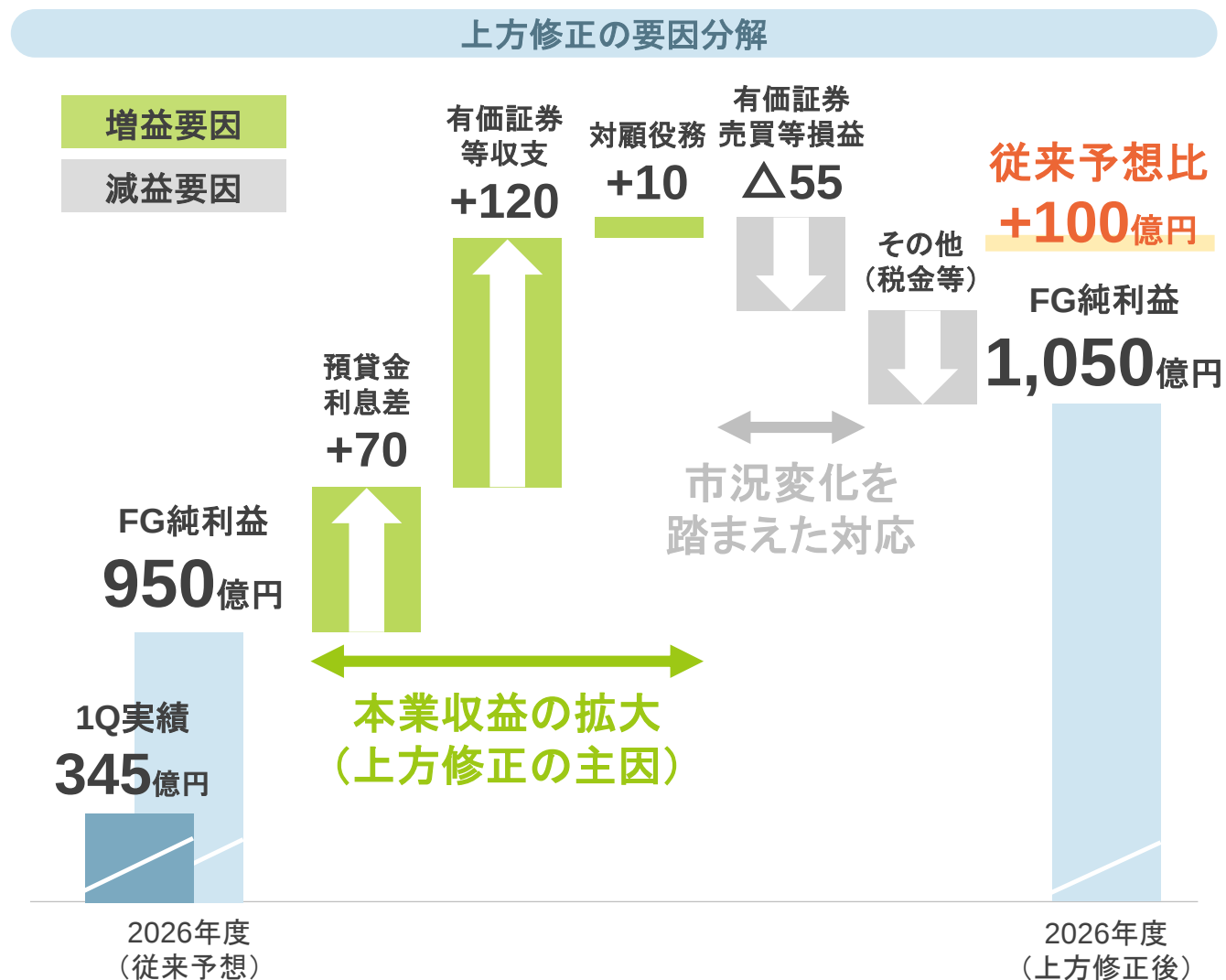
1Q純利益 **345**億円（進捗率 **32.8%**）

Point 2 業績予想を上方修正

2026年度
当期純利益 **950**億円 ➡ **1,050**億円

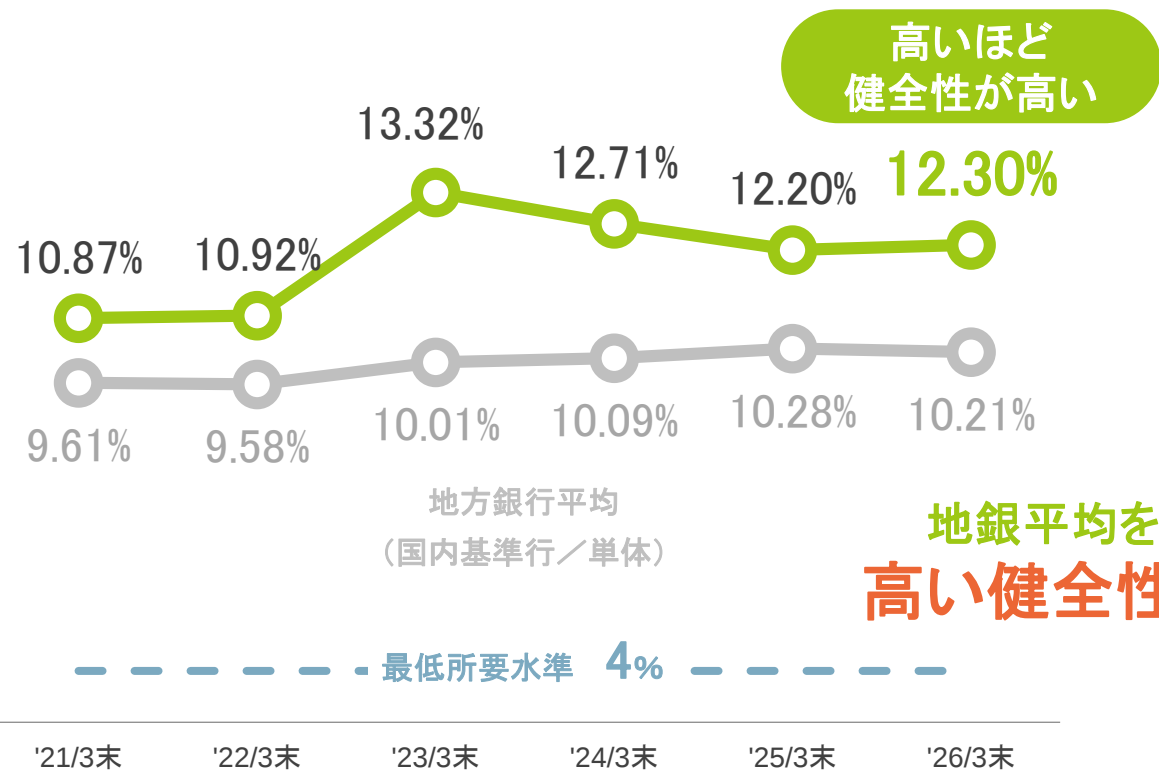
Point 3 1株当たり年間配当額を増配

2026年度
年間配当額 **40**円 ➡ **44**円

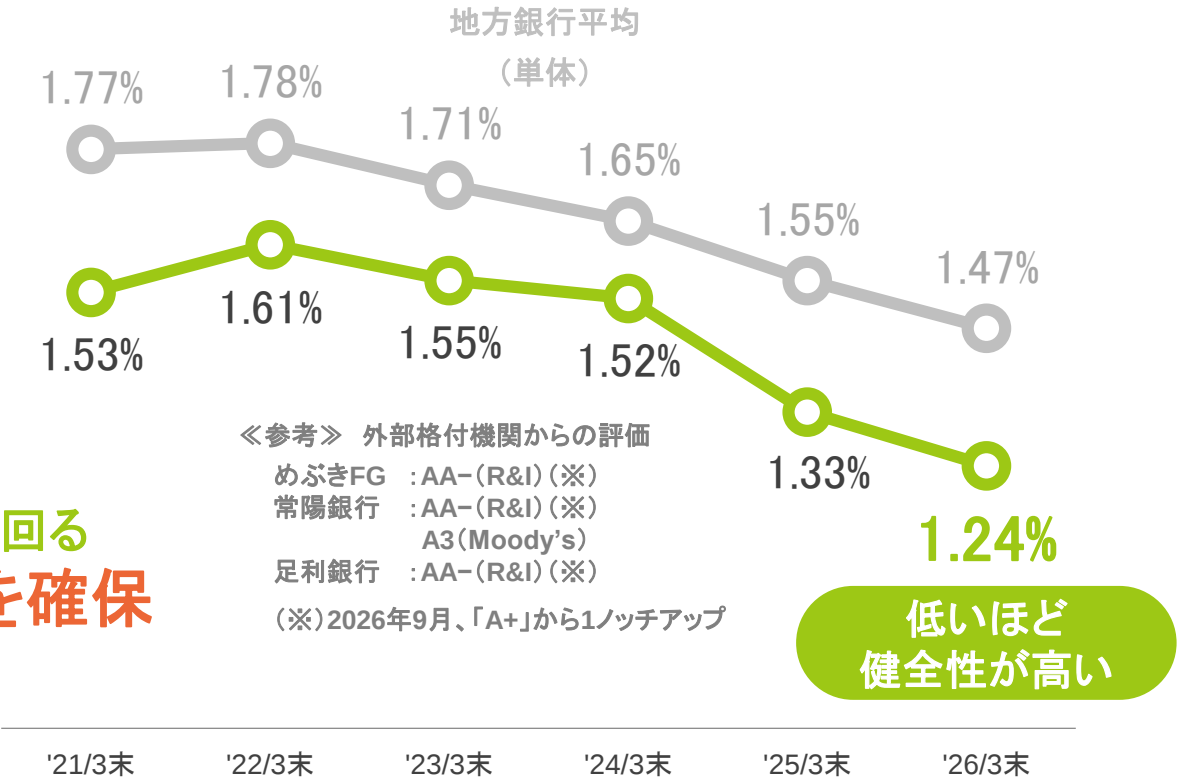


3 (3) 資本・資産の健全性

■ 自己資本比率(連結)



■ 不良債権比率(連結)



高い健全性を確保している一方で...

めぶきFG ROE 8.2% (2025年度) $\approx$ 株主資本コスト 8~9% (投資家が当社に期待する利回り)

課題認識
ROEは株主資本コストと均衡 (資本効率を更に高めることが必要)

今後は...
株主還元の積極化と合わせて 資本をコントロール

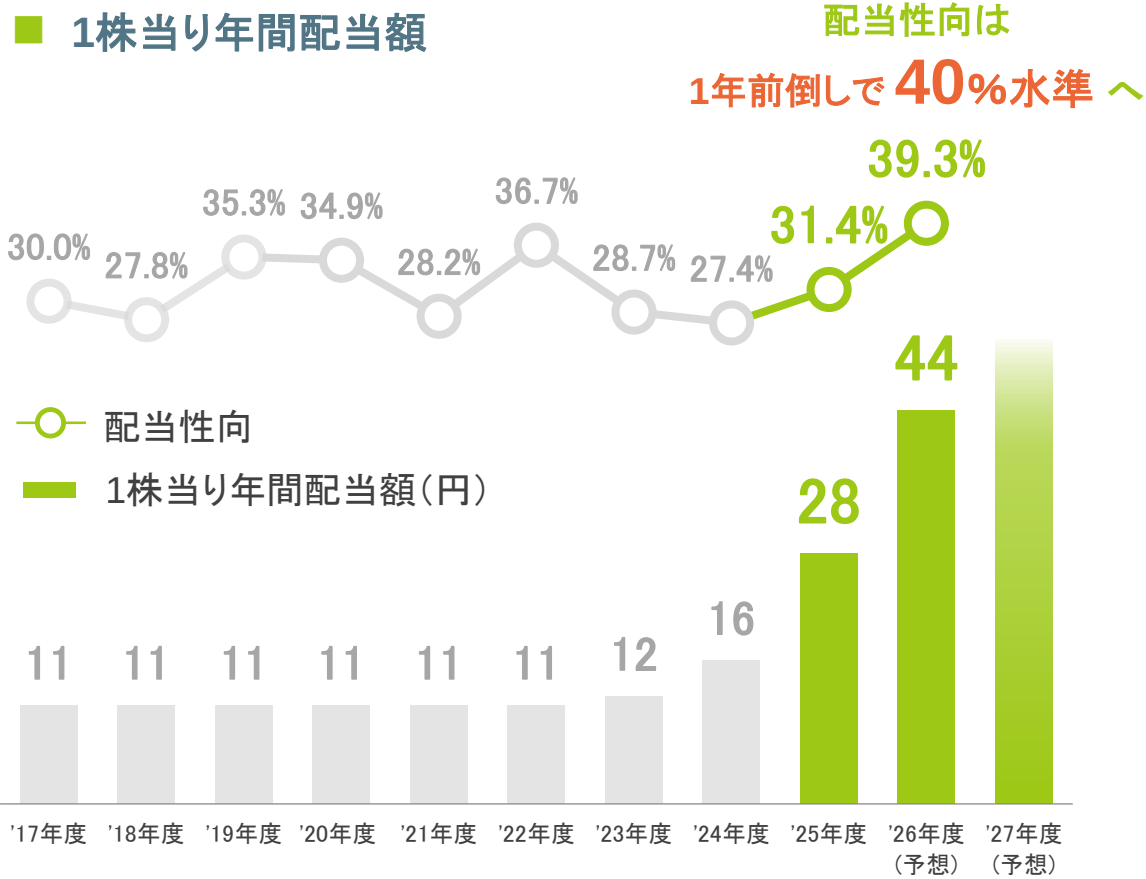
3 (4) 積極的な株主還元

■ 株主還元方針(2025年3月見直し)

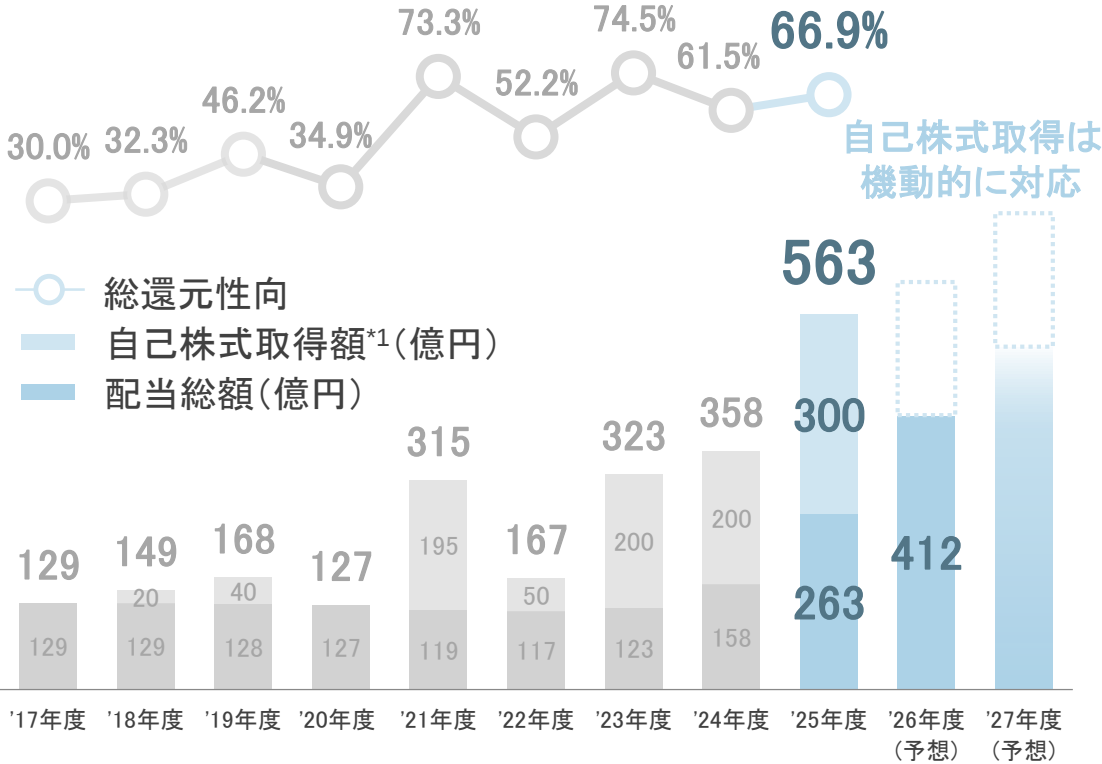
配当 ▶ 利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本とし、**配当性向は2027年度までに40%以上**への到達を目指す。

自己株式取得 ▶ 市場動向や業績見通し等に加え、成長機会の機動的な捕捉に備えた資本活用も考慮した**キャピタル・マネジメントにもとづき機動的に対応**。

■ 1株当たり年間配当額



■ 配当・還元実績



*1 億円未満を四捨五入して記載

3 (4) 積極的な株主還元

■ 株主優待制度

対象となる株主さま

毎年3月末日を基準日とし、当社株主名簿に記録された
1,000株以上保有の株主さまのうち、継続して1年以上^{*1}保有する株主さま

保有株式数	特産品等の金額目安	アイテム数
1,000株以上5,000株未満	2,500円相当	2026年度 641 アイテム (各コース合計)
5,000株以上10,000株未満	4,000円相当	
10,000株以上	6,000円相当	

《優待品例》



専用カタログから、保有株式数に応じて
お好みの特産品をお選びいただきます。

^{*1} 継続して1年以上保有する株主さまとは、毎年の基準日(3月末日)とその前年の3月末日および9月末日の当社株主名簿に、同一株主番号で1,000株以上の保有が連続して記録されている株主さまとなります

株主構成における『個人株主』の割合^{*2}

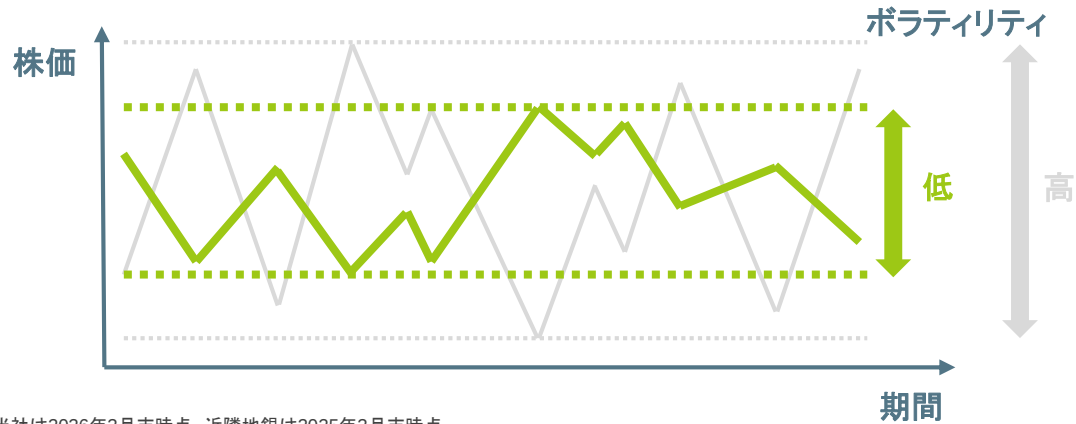
めぶきFG	近隣地銀A	近隣地銀B	近隣地銀C
22%	9%	11%	14%

株主優待制度は、多くの株主さまからご好評いただいております、
当社は『**個人株主**』の割合が高い。

個人株主が多いと、どうなるの？

一般的には・・・

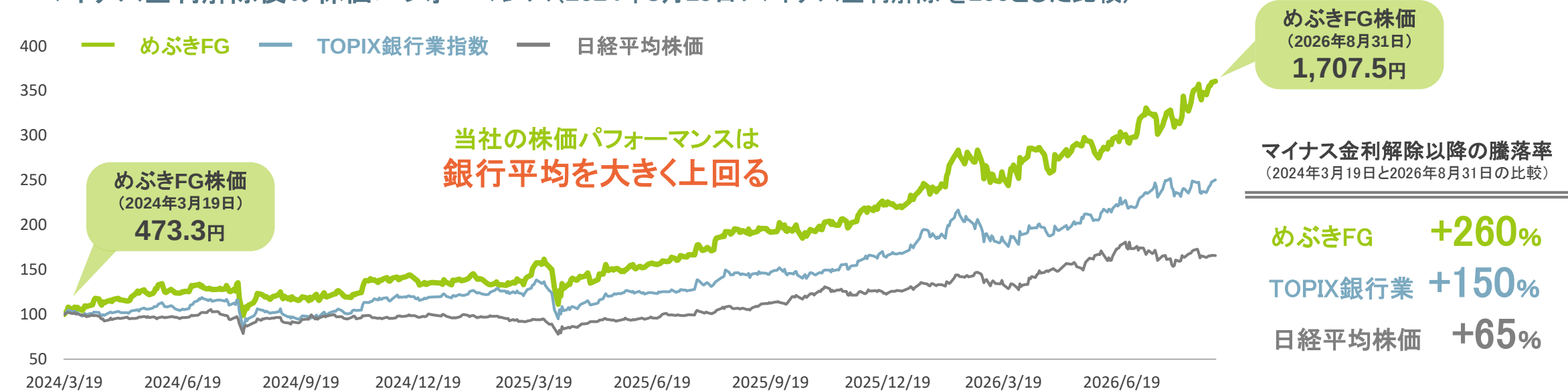
株価のボラティリティ(変動度合い)が低く、値動きが安定



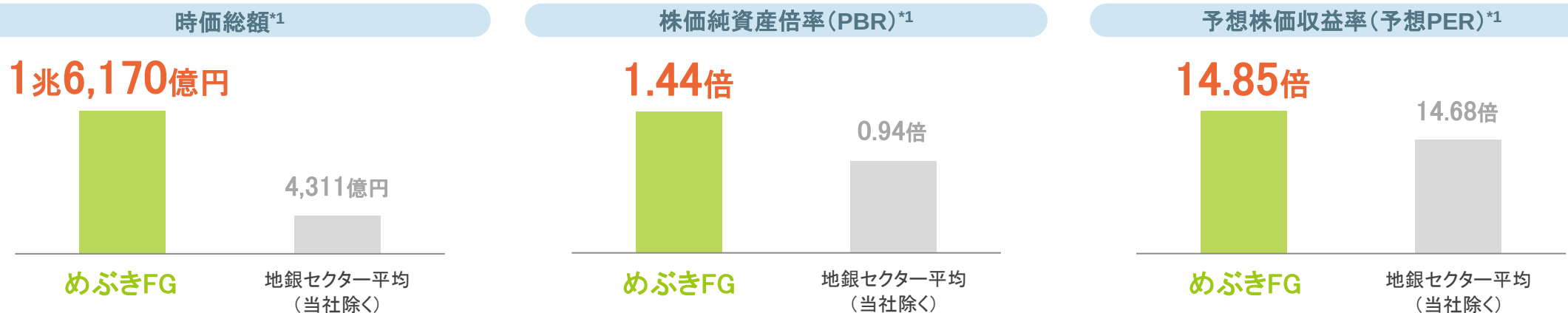
^{*2} 当社は2026年3月末時点、近隣地銀は2025年3月末時点

3 (5) めぶきフィナンシャルグループの株価推移

■ マイナス金利解除後の株価パフォーマンス(2024年3月19日:マイナス金利解除 を100とした比較)



■ 他社・他行との比較(株価関連指標)



* 1 2026年8月31日の終値にて算出

1. めぶきFGってどんな会社？

2. 『銀行』と『金利』の関係は？

3. めぶきFGの強みとは？

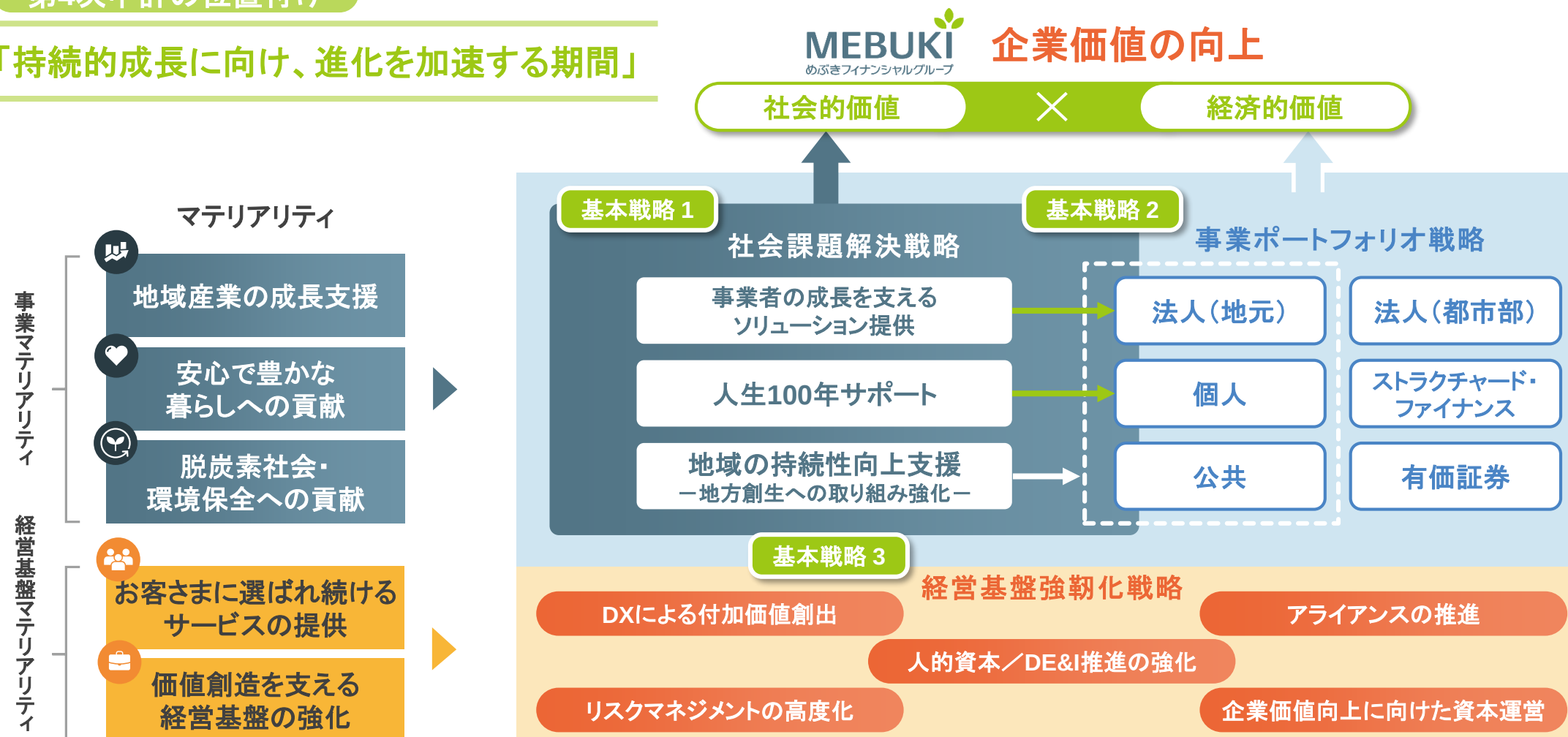
4. めぶきFGってこれからどうなるの？

4 (1) 第4次グループ中期経営計画の概要

■ 第4次グループ中期経営計画の全体像・戦略構成

第4次中計の位置付け

「持続的成長に向け、進化を加速する期間」



4 (2) 計数計画

■ 経営目標

		国内政策金利シナリオ		1.00%想定	...	0.75%想定
		2024年度実績	2025年度実績	2026年度予想	...	2027年度中計目標
経営指標 (経済的価値)	連結ROE (純資産ベース)	5.9%	8.2%	9.5% 程度	...	9.0% 以上
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	582億円	841億円	1,050億円	...	900億円 以上
社会的 インパクト指標 (社会的価値)	付加価値額 取引先の成長支援に 当社グループが 主体的に関与した先の 付加価値額	約2兆円 (2023年度実績)	—	—	...	持続的な 増加

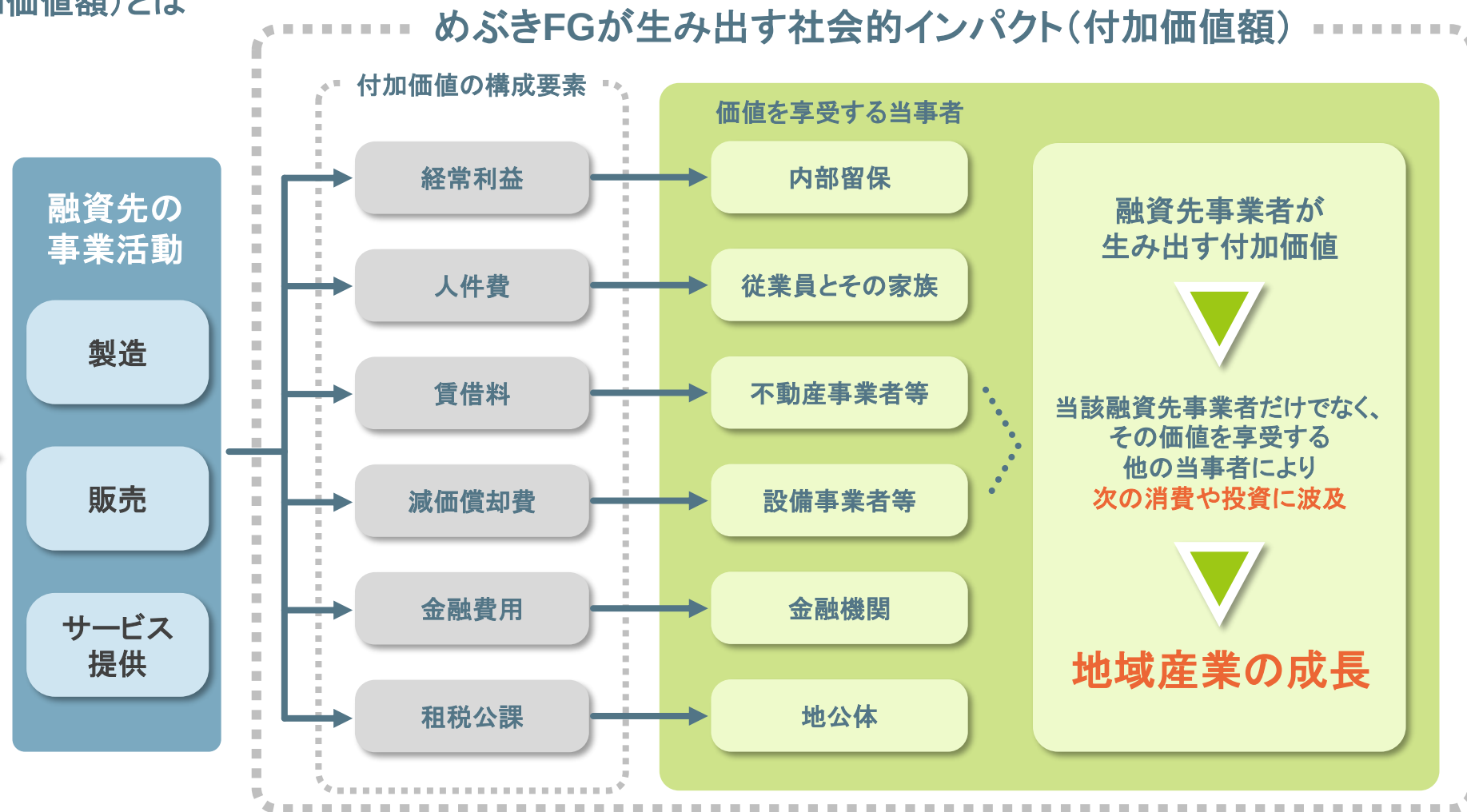
1年前倒しで達成見込み

...▶ 詳細は30ページ参照

4 (3) 社会的インパクト指標としての付加価値額

■ 社会的インパクト(付加価値額)とは

地域事業者の
課題解決に向けた
本業支援や
円滑な資金供給



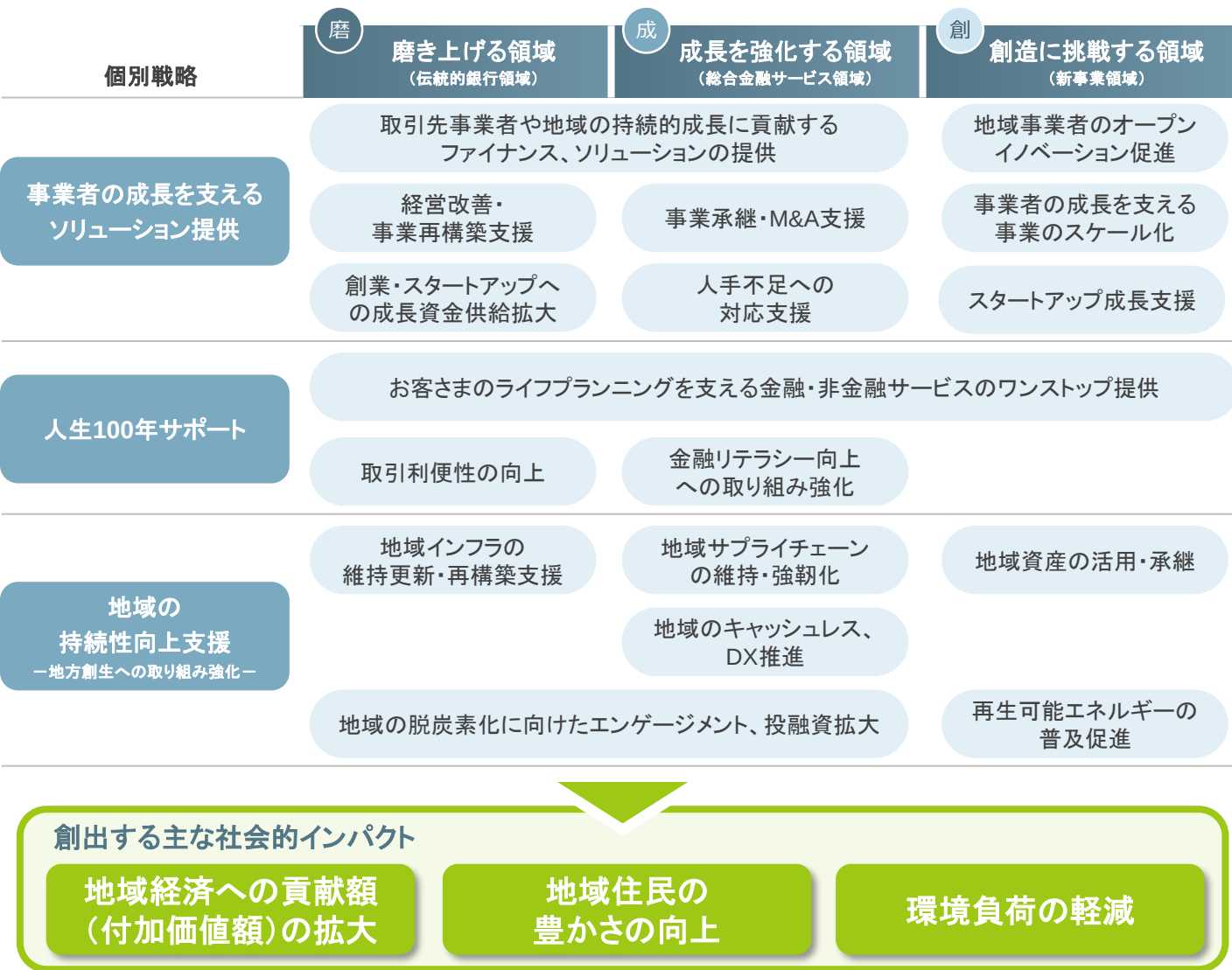
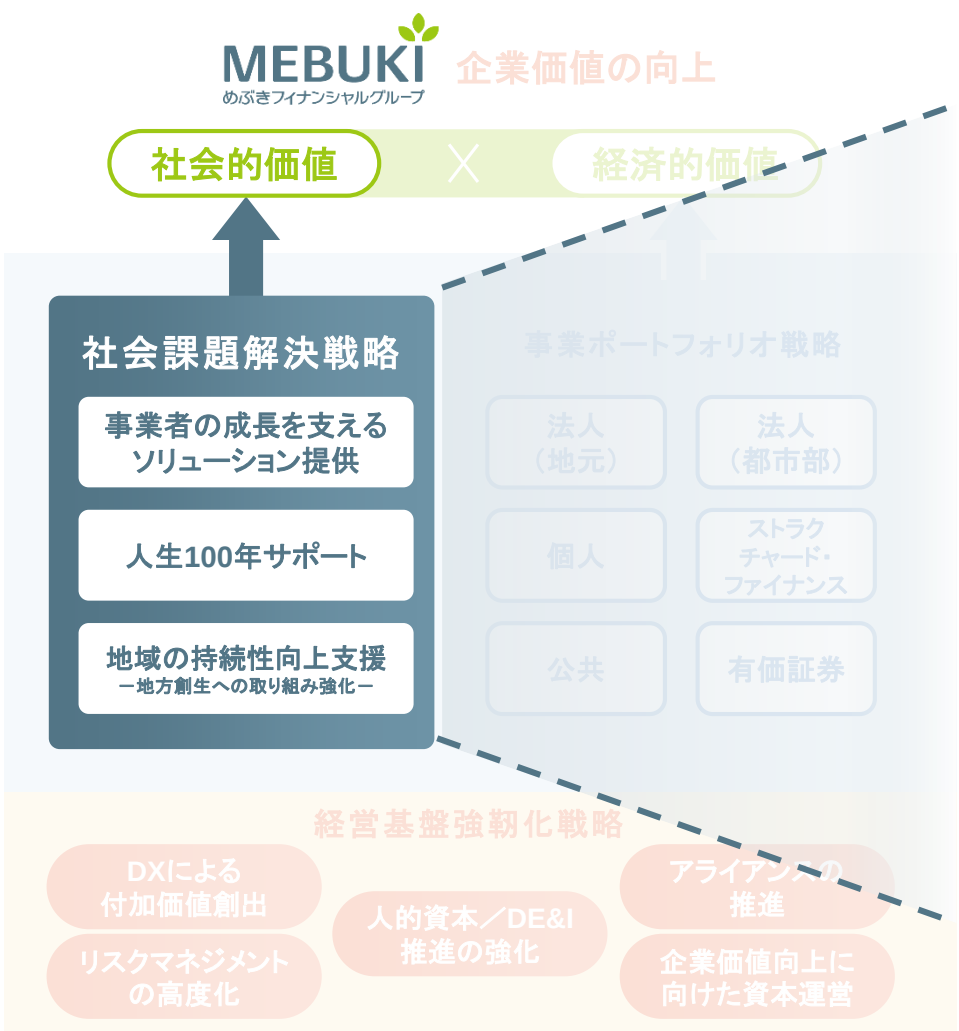
経営成績(2025年9月末基準・試算値)：対象先における付加価値額の合計は、前年同期比 **+3.2%**程度増加

(参考)茨城県・栃木県における2023年度の地域GDP(名目)の年次成長率 : 2.2%

2014年度から2023年度の10年間における地域GDP(名目)の平均年次成長率 : 1.6%

4 (4) 事業活動を通じた社会的インパクト創出

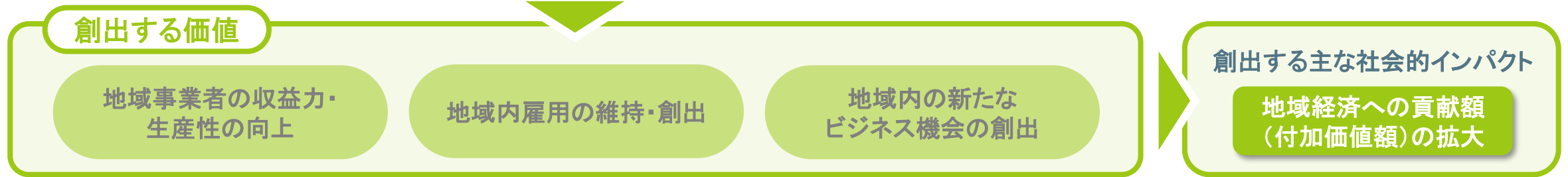
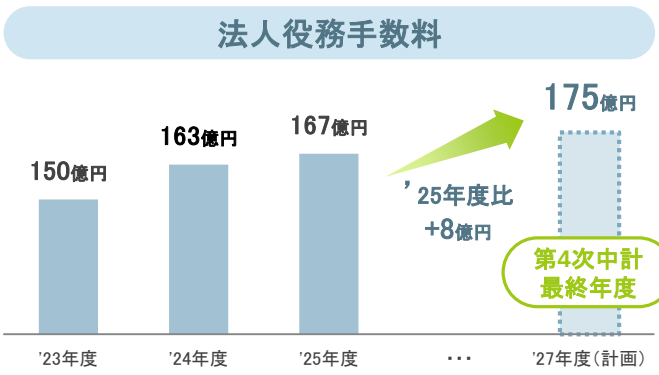
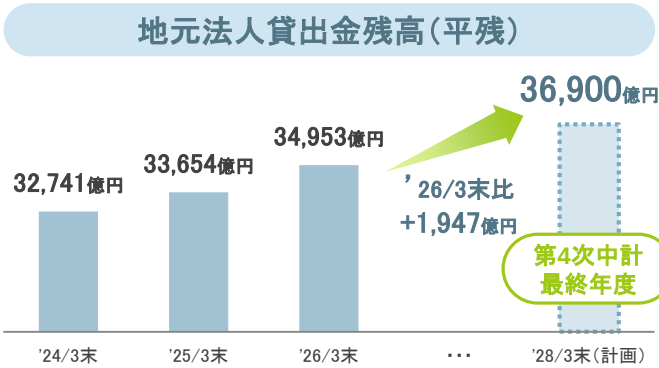
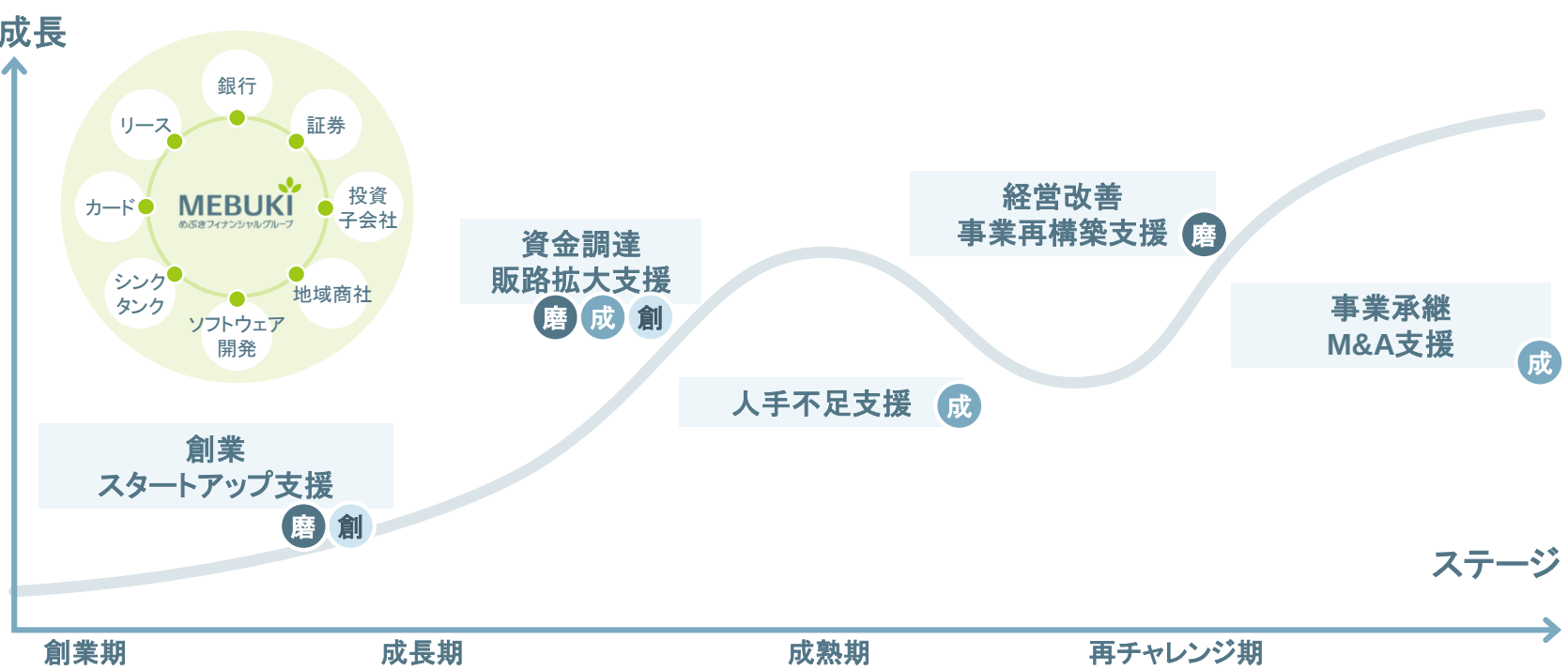
■ 社会課題解決戦略の全体像



4 (5) 社会課題解決戦略

■ 《個別戦略》 事業者の成長を支えるソリューション提供

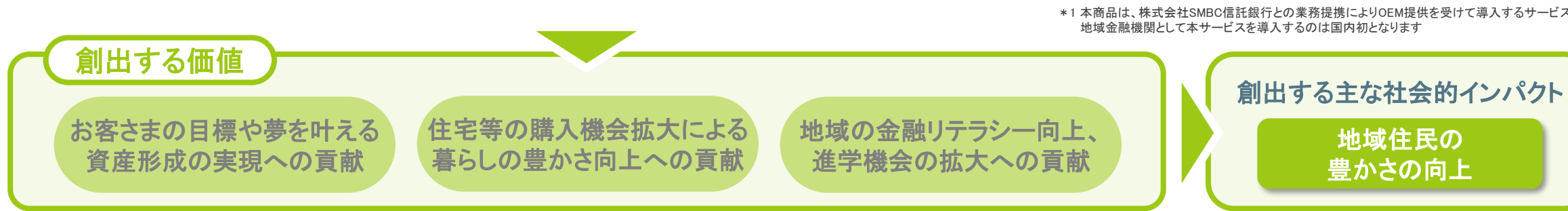
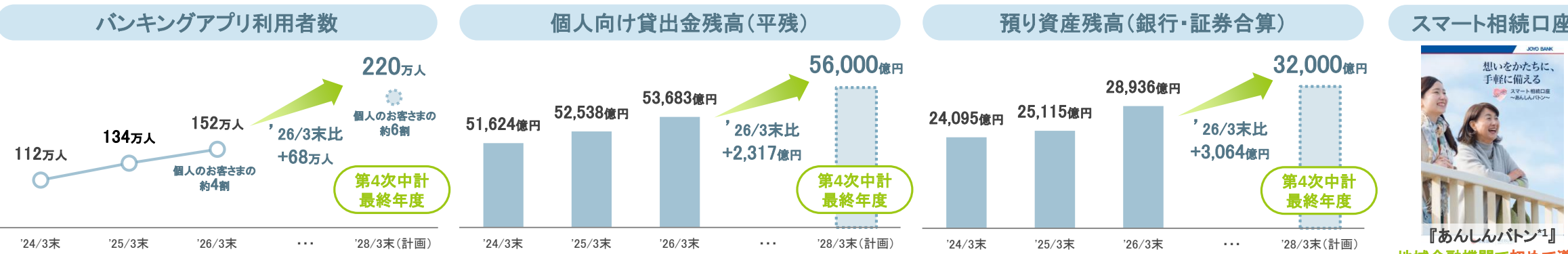
グループ営業シナジーの発揮や、グループ内外機関との連携による複合的・総合的なソリューション提供により、地域事業者の持続的な成長に貢献



4 (5) 社会課題解決戦略

■ 《個別戦略》 人生100年サポート

お客さまのライフプランニングを支える金融・非金融サービスをワンストップで提供することにより、生涯にわたる安心で豊かな暮らしの実現に貢献

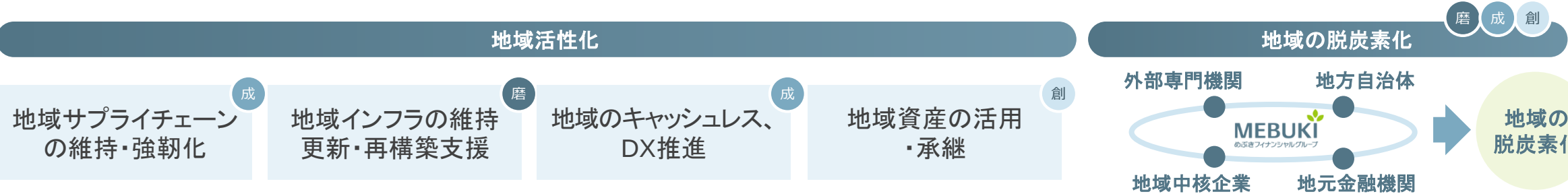


*1 本商品は、株式会社SMBC信託銀行との業務提携によりOEM提供を受けて導入するサービスであり、地域金融機関として本サービスを導入するのは国内初となります

4 (5) 社会課題解決戦略

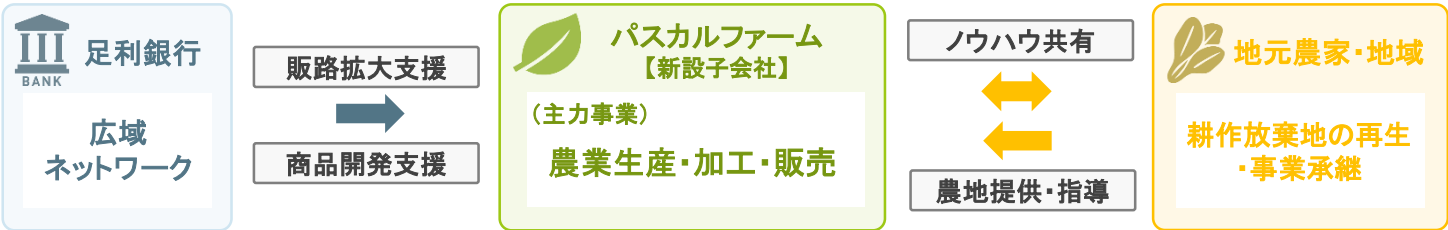
■ 《個別戦略》 地域の持続性向上支援 ―地方創生への取り組み強化―

地域の活性化・脱炭素化に向け、当社グループがハブとしての機能を発揮することにより、地域のサステナビリティに貢献



取組事例：農業事業への参入を通じた地域社会の持続的成長への貢献

- 茨城県・栃木県は国内有数の農業地域でありながら、農業者の高齢化等を背景に、耕作放棄地の増加や農業基盤の維持などの課題に直面。新設子会社『パスカルファーム(2026年10月設立予定)』の農業事業への参入により、農地の承継・集約や雇用就農の確保を通じて、地域課題の解決を目指す。



取組事例：再生可能エネルギー電源の取得

- 常陽グリーンエナジーは、一般家庭の約4,500世帯分の年間消費電力に相当する約16MWの太陽光発電設備を取得・開発（2026年3月現在）。

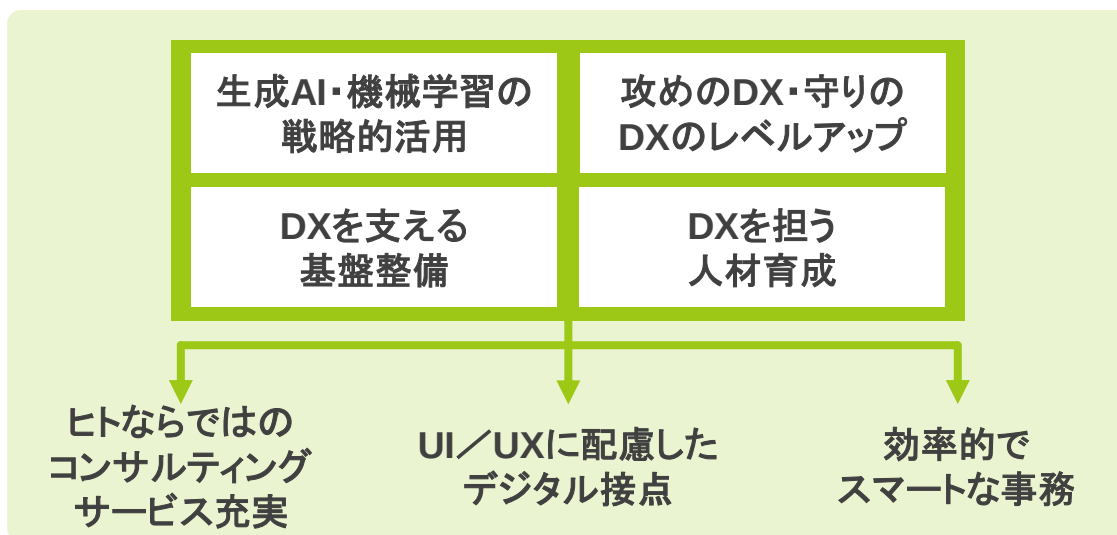


4 (6) 経営基盤強靱化戦略

■ 《個別戦略》 DXによる付加価値創出

データ・AIの戦略的活用をはじめとしたDX推進による付加価値創出により、お客さまに選ばれるサービスを提供

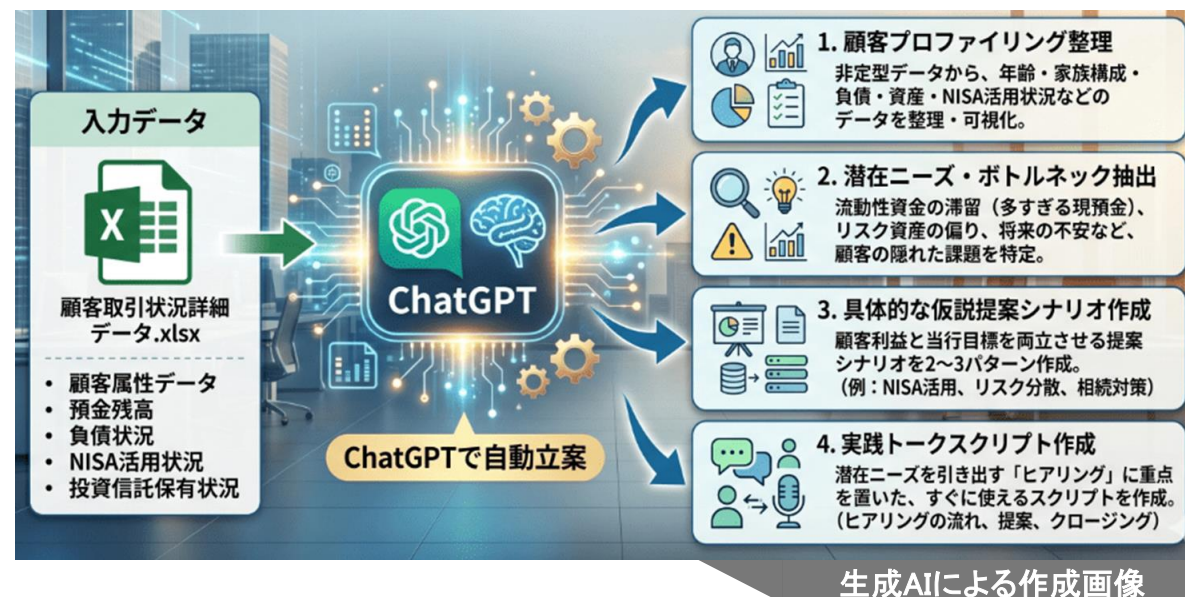
第4次グループ中期経営計画の取り組み



- ✓ データ・AIの戦略的活用による生産性向上
- ✓ チャンネルの高付加価値化・利便性向上
- ✓ 営業店業務レスの推進

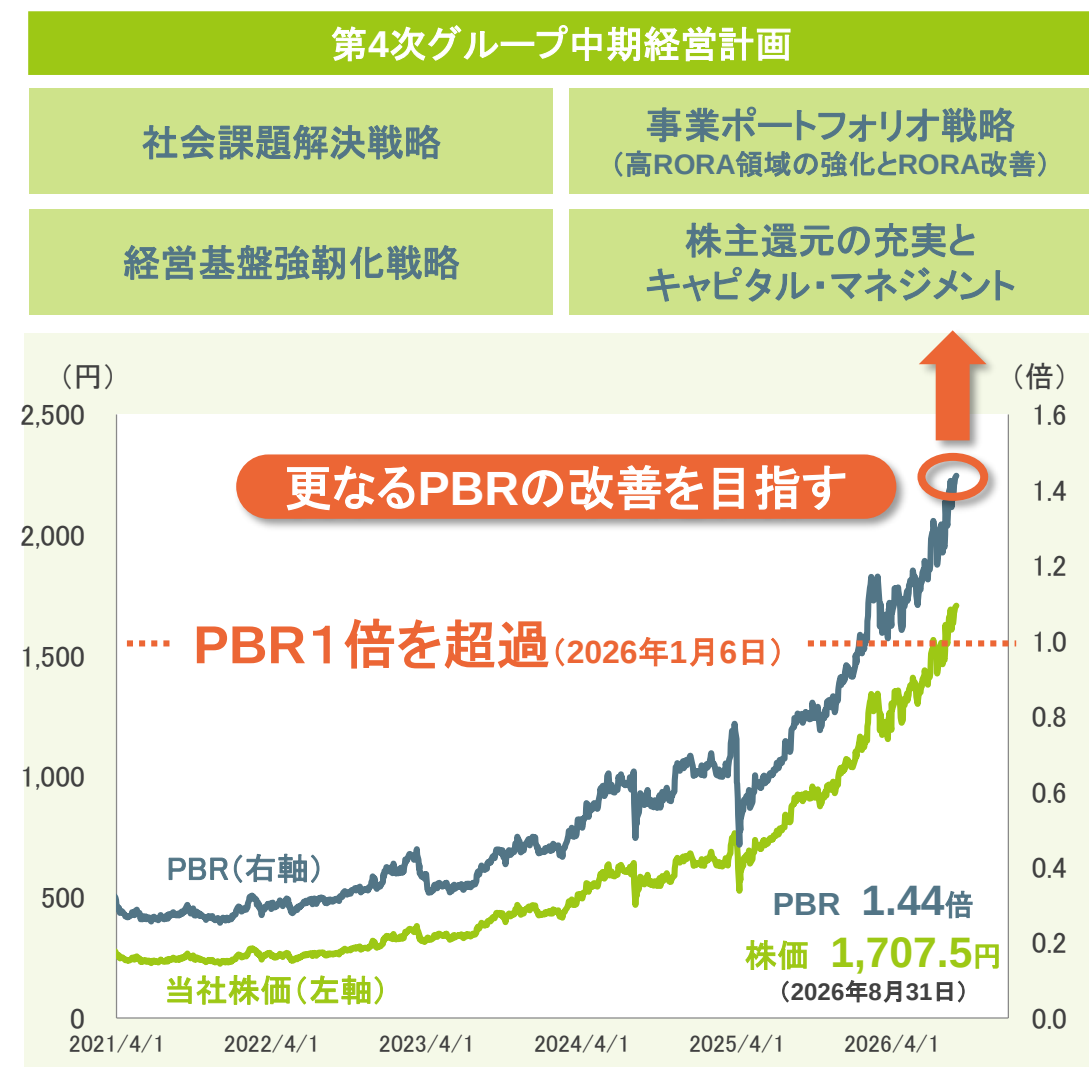
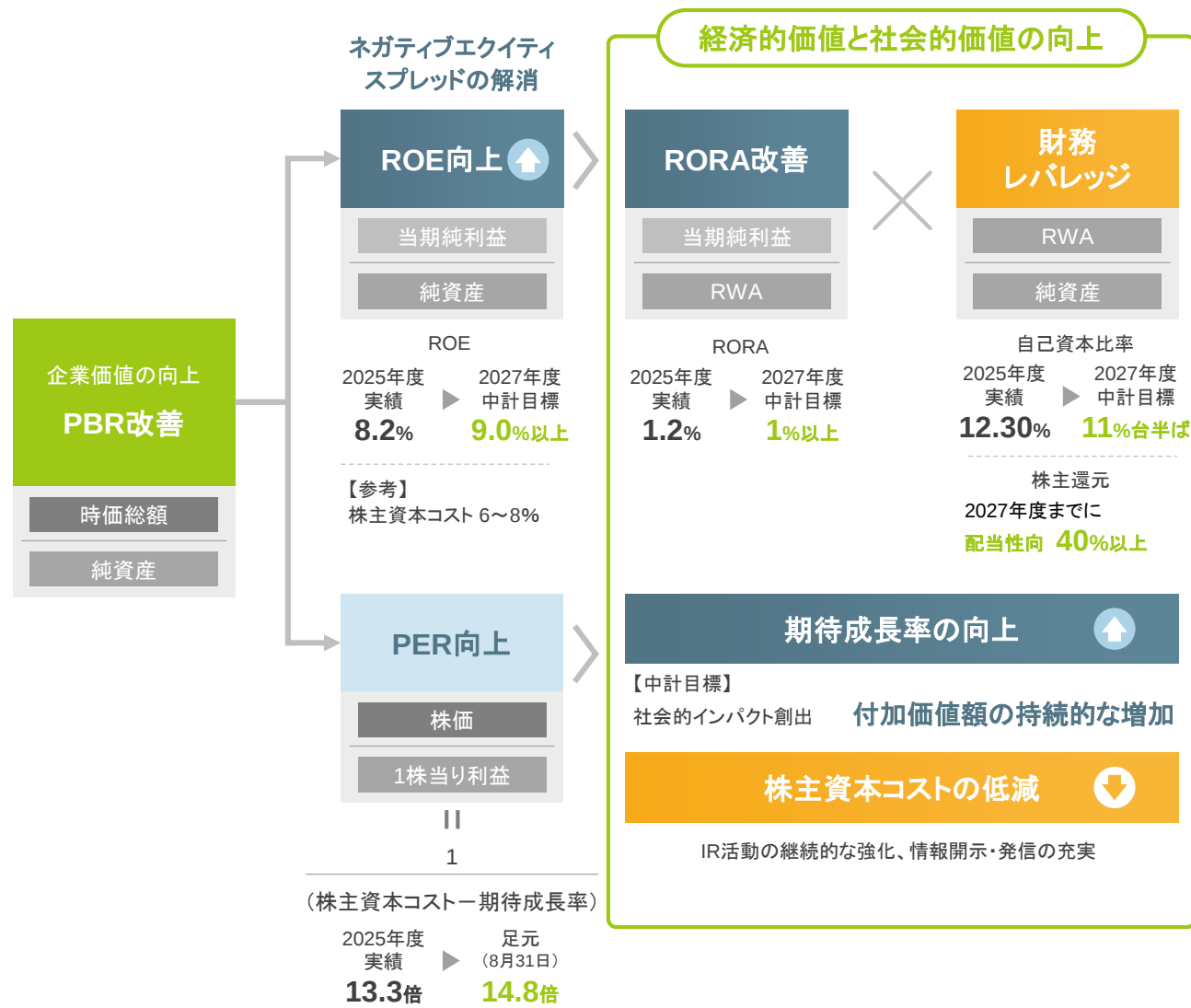
生成AIの活用事例 ―ウェルスマネジメント営業サポート―

- お客さまの取引データ(属性・預金残高・投資信託保有状況等)をもとに、顧客本位の業務運営に則った効果的なアプローチを自動立案
- 潜在的なニーズやボトルネック(リスク資産の偏り等)を抽出し、それらを解決するための具体的な仮説提案シナリオを作成
- お客さまの信頼を獲得し、次に繋げるためのトークスクリプトを作成



4 (7) 企業価値および社会的インパクトの向上に向けて

■ 企業価値および社会的インパクトの向上に向けた戦略展開



ご参考資料

(参考) めぶきフィナンシャルグループ 統合報告書 2026

■ 統合報告書の概要

社長メッセージ

統合10年で築いたグループ総合力で「地域とともにあゆむ価値創造グループ」の実現をより確かなものに



《Topics》

- 統合10年でグループ経営基盤の構築に大きな成果
- 「金利ある世界」を追い風に取り引先の支援を高度化
- 4次中計1年目は順調なスタート、PBRも1倍超に
- 収益構造の変革と資本効率の向上を確固たるものに
- 人材の多様化、専門性の強化へ人的資本投資を拡大
- 社会的価値を可視化し、さらなる価値創造へ

※ 本誌は、当社ホームページに掲載
(https://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/ir_library/disclosure/)

(参考) ホームページのご案内

■ 株主・投資家の皆さまに向けたコンテンツ

トップページ

<https://www.mebuki-fg.co.jp/>



株主・投資家の皆さまへ

<https://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/>



掲載コンテンツ

- 業績・財務情報
- 株式のご案内
- IRライブラリー
- 株主優待について
- IRカレンダー
- IRに関するよくあるご質問

など、随時更新してまいります。

最新の情報はこちら



本件に関する問い合わせ先

株式会社めぶきフィナンシャルグループ経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <https://www.mebuki-fg.co.jp/>



ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより 実際の数値と異なる可能性があります。